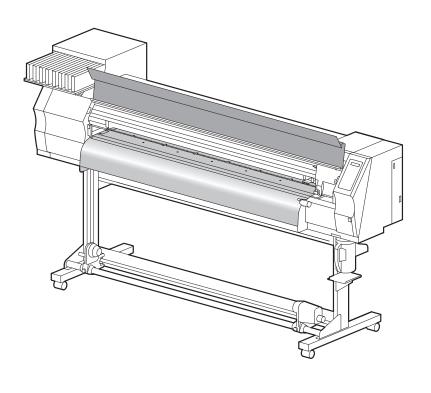


カラーインクジェットプリンタ

T530-1300

取扱説明書



株式会社ミマキエンジニアリング

D202976-10

目次

| ご注意 | V |
|-------------------------|--|
| ご注意 | |
| おねがい | |
| 電波障害自主規制 | |
| テレビ / ラジオの受信障害に はじめに | |
| 取扱説明書について | Vi |
| | VI Vii |
| マーク表示について | |
| | ······································ |
| 第1章 ご使用の前に | |
| | |
| 本装置の移動 | |
| 設置場所について | |
| 使用環境温度について | |
| 本装置の移動 | |
| 各部の名称とはたらきについて | |
| 装置前面 | |
| 装置背面 / 側面 | |
| 操作パネル | |
| メディアセンサー | |
| キャリッジ | |
| カッター刃とカットライン | |
| キャッピングステーション | |
| ピンチローラーとフィードロ | |
| ケーブルを接続する | |
| USB2.0 インターフェイスケ | |
| 電源ケーブルを接続する | |
| インクカートリッジを入れる. | |
| インクカートリッジ取り扱い | _ |
| メディアについて | |
| 使用可能メディアサイズ | |
| メディア取り扱い上の注意 | |
| メニューモードについて | 1-15 |
| | |
| 第2章 基本的な使い方 | |
| ユーザータイプについて | 2-2 |
| ユーザータイプに登録できる | |
| 登録したユーザータイプを使 | |
| 作業の流れ | |
| 電源を入れる/切る | |
| 電源を入れる | |
| 電源を切る | |
| メディアをセットする | |
| ヘッド高さを調整する | |
| ロールメディアをセットする | |
| リーフメディアをセットする | |
| 原点を変更する場合は | |
| ///// Cススノ ひ/// LIO | |

| テスト作図をする | 2-16 |
|----------------------|------|
| テスト作図を行う | 2-16 |
| ヘッドクリーニングを実行する | 2-17 |
| データを作図する | 2-18 |
| 作図を開始する | 2-18 |
| 作図を中止する | |
| 受信したデータを消去する(データクリア) | 2-19 |
| メディアをカットする | |
| | |
| 第3章 便利な使い方 | |
| ユーザータイプについて | 3-2 |
| 作図条件をまとめて登録する(タイプ登録) | 3-2 |
| タイプ登録のしかた | |
| メディア補正の設定をする | |
| メディア補正の設定 | 3-5 |
| 作図方式の設定をする | 3-8 |
| 作図品質の設定 | 3-8 |
| スキャン方向の設定 | |
| ロジカルシークの設定 | 3-11 |
| 乾燥時間の設定をする | 3-12 |
| マージンの設定をする | 3-13 |
| 優先順位の設定をする | |
| オートクリーニングの設定をする | 3-16 |
| 作図中クリーニングの設定をする | 3-18 |
| メディア検出の設定をする | 3-20 |
| パス間のシマを軽減する設定をする | 3-22 |
| その他の設定 | 3-24 |
| 設定した内容を初期状態に戻す | 3-26 |
| マシン設定 | 3-27 |
| ハイキファンの設定をする | |
| カンソウフィードの設定をする | |
| スタンプの設定をする | |
| テストサクズハイチの設定をする | |
| シツオンの動作条件を変更する | |
| カクニンフィードの設定をする | |
| ジコクの設定をする | |
| タンイの設定をする | |
| マシンメイショウの設定をする | |
| キーブザーの設定をする | |
| インクの有効期限を延長する | |
| インクの有効期限を延長する | |
| インク供給経路の切替設定 | |
| 装置情報を確認する | |
| 情報を表示させる | 3-45 |

| 第4章 日常のお手入れ | |
|-----------------------|-----|
| 日常のお手入れ | 4-2 |
| お手入れ上のご注意 | 4-2 |
| メンテナンス洗浄液について | |
| 外装のお手入れ | |
| プラテンの清掃 | |
| メディアセンサーの清掃 | 4-4 |
| メディア押えの清掃 | |
| キャッピングステーションのメンテナン | |
| ワイパーとキャップの清掃 | 4-6 |
| ワイパーを交換する | |
| ヘッドノズルの洗浄 | |
| インク排出路の洗浄 (PUMP チューブ) | |
| 長期間使用しない場合 (ホカンセンジ | • |
| ヘッド周辺の清掃 [`] | |
| ノズル詰まりが復旧しない場合 | |
| インクを充填する | |
| ハイシュツ&センジョウ | |
| インクの初期充填を行う | |
| ドットの位置がずれたら | |
| 電源オフ時のインク詰まりを防止する | |
| スリープ中のリフレッシュ間隔を設定 | |
| スリープ中のクリーニング間隔を設定 | |
| 定期動作を設定する | |
| 作図中の定期ワイピングの動作を設定 | |
| 待機中のリフレッシュ間隔を設定する | |
| 待機中のクリーニング間隔を設定する | |
| その他のメンテナンス機能 | |
| ワイパー交換の警告時期を変更する. | |
| メディア残量表示の設定をする | |
| 昇華転写インクをより安定した品質で | |
| 廃インクタンク確認メッセージが表示 | |
| インクセットを変更したいとき | |
| カッター刃の交換 | |
| | |
| 第5章 困ったときは | |
| 故障?と思う前に | 5_2 |
| 電源が入らない | |
| 作図できない | |
| メディア詰まり/メディアが汚れる | |
| 画質不良が発生したときは | |
| 対象の発生したことは | |
| カートリッジ異常が発生したら | |
| メッセージを表示するトラブル | |
| ワーニングメッセージ | |
| エラーメッセージ | |
| エノ | ວ-໐ |

第6章 付録

| 本体仕様 | 6-2 |
|-----------|-----|
| インク仕様 | 6-4 |
| お問い合わせシート | 6-5 |
| 警告ラベルについて | 6-6 |
| 機能フローチャート | 6-8 |

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害(逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない)に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様と します。

一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本装置がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- ・テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンタ TS30-1300 をお買いあげいただき、誠にありがと うございます。

「TS30-1300」は、昇華転写インク Sb54(4/6色) で作図する、高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

- 4 色モデル: ブルー・マゼンタ・イエロー・ブラックの各インクカートリッジを2本ずつ使用可能
- 6 色モデル: ブルー・マゼンタ・イエロー・ブラック・ライトブルー・ライトマゼンタの各イン クカートリッジを1本使用可能(ただし、マゼンタ・ブルーのみ2本)

取扱説明書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ TS30-1300」(以後本装置と称します)の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売 店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ・本書が焼失/破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

| | 内 容 |
|----------|---|
| 警告 | 「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または 重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、 正しくお使いください。 |
| 注意 | 「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |
| 重要! | 「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい 内容が書かれています。操作の参考にしてください。 |
| | 「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考 にしてください。 |
| | 関連した内容の参照ページを示しています。 |
| <u> </u> | |
| | ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止)が描かれています。 |
| 8-6- | ●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。 |

使用上の警告と注意

警告



- ・換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、 加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になり
- ・万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因 になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜い てください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼く ださい。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因 になります。
- プラテンにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。
- ・湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になり
- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。

使用上のご注意

注意



電源供給について

- •ブレーカーは常時ON にしておいてくだ
- ・背面にある主電源スイッチは OFF にし ないでください。

メンテナンス上の注意



• インクステーションやヘッドを清掃す る際は、必ず付属の手袋を着用してくだ さい。

インクの取り扱い



- 万一、インクが目に入った場合は、直ち に大量の清浄な水で 15 分以上洗い流 し、まぶたの裏まで完全に洗い流してく ださい。また、できるだけ早く医師の診 察を受けてください。
- 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静 にして直ちに医師の診断を受けてくだ さい。嘔吐物は、飲み込ませないでくだ さい。その後、毒物管理センターに連絡 してください。

↑ 警告

インクカートリッジの取り扱い

- TS30 専用インクをお使いください。専用イン ク以外を使用して故障した場合の修理は、お客 様の負担になりますのでご了承ください。
- TS30 専用インク以外のインクを使用すると、 装置保護のため、動作しません。
- TS30 専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。
- ・カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に 移した場合は、3時間以上室温環境下に放置し てから使用してください。
- インクカートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。
- インクカートリッジは、冷暗所で保存してくだ さい。
- インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・インクカートリッジは、開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。
- インクカートリッジを強くたたいたり、激しく 振り回さないでください。カートリッジからイ ンクが漏れる場合があります。
- インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- 空になったインクカートリッジ・廃インクは、 産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください

フロントカバーとレバーについて

作図中にフロントカバーを開けたり、レバーを 上げたりしないでください。作図が終了してし まいます。

メディアの取り扱い

- ・推奨メディアをご使用ください。安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- ・メディアの伸縮にご注意ください。 包装を開けて間もないメディアは、使用しない でください。室内の温度や湿度によって、メ ディアが伸縮する場合があります。包装を開け て、使用する場所で 30 分以上さらしてから装 置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。 紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。

また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

メディアとホコリについて

- ・メディアは袋に入れて保管してください。メ ディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気 により逆効果になります。
- ・夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに 掛けっぱなしにしないでください。メディアの 上にホコリが付着してしまいます。

⚠ 警告

メンテナンス上の注意

- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。(☆ P.3-25「リフレッシュの設定」)
- 作図しないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。
- 作図中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(公子 P.3-16 「オートクリーニングの設定をする」)
- ・インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の手袋を着用してください。
- ・キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除 (ホコリ、紙粉) は、こまめに行ってください。

定期交換部品

• 本装置には定期的に交換する部品があります。機材を末永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。

設置上のご注意

| | <u> </u> | |
|------------|----------------------|--|
| 直射日光が当たる場所 | 水平でない場所 | 温度や湿度の変化が 激しい場所 |
| | | ・次の環境下でお使い ください。 ・使用環境: 20 ~ 35 ℃ 35 ~ 65 % (Rh) |
| 振動が発生する場所 | エアコンなどの 風が直接当たる場所 | 火を使う場所 |
| | | |

第1章 ご使用の前に



この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

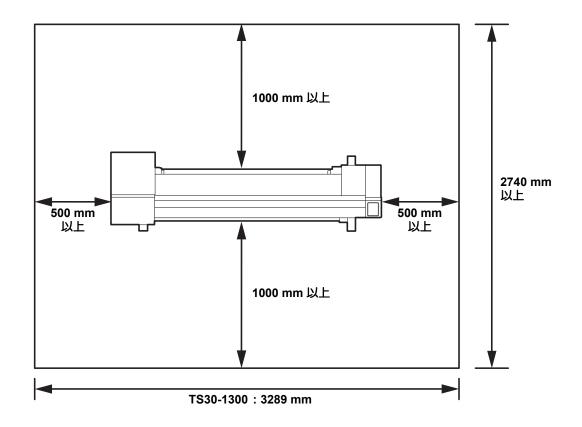
| 本装置の移動 1-2 | ケーブルを接続する1-10 |
|----------------------|---------------------|
| 設置場所について1-2 | USB2.0 インターフェイスケーブル |
| 使用環境温度について1-2 | を接続する1-10 |
| 本装置の移動1-3 | 電源ケーブルを接続する1-11 |
| 各部の名称とはたらきについて 1-4 | インクカートリッジを入れる 1-12 |
| 装置前面1-4 | インクカートリッジ取り扱い上の |
| 装置背面 / 側面1-5 | ご注意1-13 |
| 操作パネル1-6 | メディアについて 1-14 |
| | 使用可能メディアサイズ1-14 |
| キャリッジ1-7 | メディア取り扱い上の注意1-14 |
| カッター刃とカットライン1-8 | メニューモードについて 1-15 |
| キャッピングステーション1-8 | |
| ピンチローラーとフィードローラー 1-0 | |

本装置の移動

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

| 機種 | 横 幅 | 縦幅 | 高さ | 全体重量 |
|-----------|--------|-------|--------|-------|
| TS30-1300 | 2289mm | 739mm | 1424mm | 145kg |



使用環境温度について

本装置は安定したプリントを行うために、20~35℃の環境でご使用ください。

本装置の移動

本装置をやむを得ず、段差のない同一フロアー内で移動する場合は、下記のように行ってください。



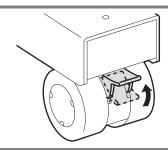
本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。 お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。 本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。



- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずキャスターをロックしてください。



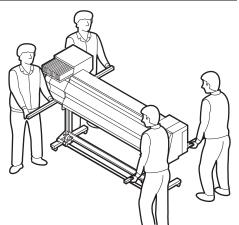
キャスターのロックを解除する



2

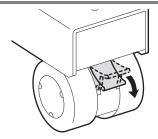
図のようにして、移動する

- 本装置を移動するときは、必ず4人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバー が割れる可能性があります。



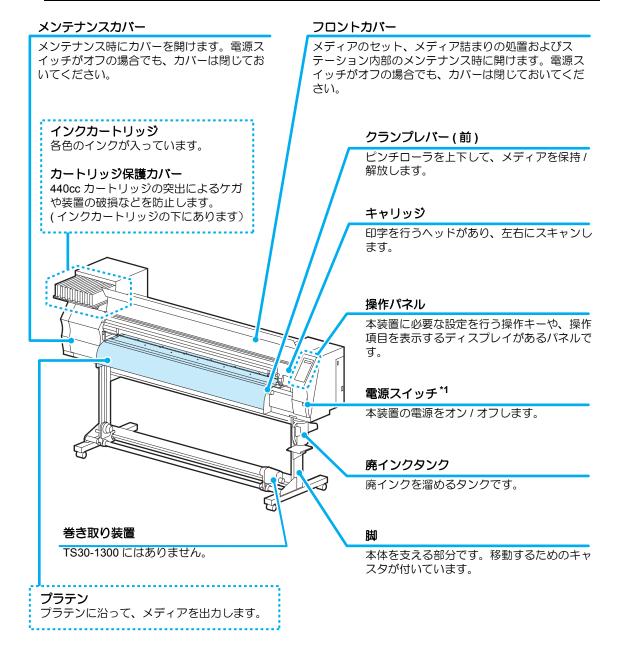
3

キャスターをロックする



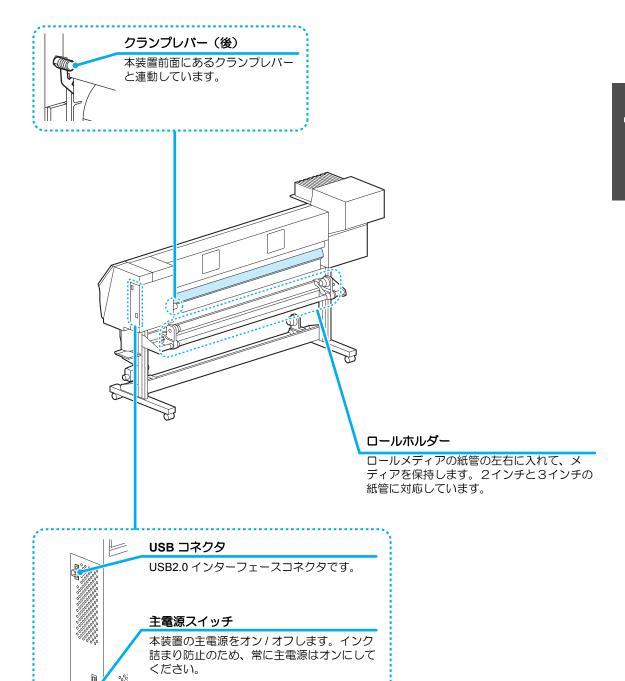
各部の名称とはたらきについて

装置前面



^{*1:}電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると点滅します。主電源スイッチ((スマア-1.-5)をオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(スリープ機能)

装置背面/側面



AC インレット

電源ケーブルを接続します。

操作パネル

操作パネルは、作図方法の設定、各種操作に使用します。

ACTIVE

ST.MAINTE TEST DRAW

FUNCTION

FND

USER TYPE CLEANING DATA CLEAR

 \Box

*M*u idid

REMOTE

ENTER

ディスプレイ

本装置の状態、設定項目、エラーなどを表示します。

ACTIVE ランプ

データ受信中や作図中に点滅します。

USER TYPE +-

ユーザータイプを選択するときに 使用します。

CLEANING +-

インク詰まりを起こしている場合 のヘッドのクリーニングを実行し ます。

DATA CLEAR +-

本装置が受信したデータを消去します。

ST.MAINTE +-

ステーションメンテをするときに 使用します。

TEST DRAW +-

インク詰まりなどの作図不良がないか確認するためにテストパターンを作図します。

《ローカルモード》でのヘッドやメ ディアの移動、作図条件の項目選 択に使用します。

FUNCTION +-

各種機能設定メニューに入ります。

(END) +-

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の階層に戻す場合に使用します。

(REMOTE) +-

《ローカルモード》と《リモートモード》を切り 替えます。

ENTER +-

1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

ジョグキーのはたらき

ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

| メディア検出前 | メディア検出後 | 機能選択時 | 設定の選択時 |
|--------------------|------------|-----------|----------|
| メディア幅を検出 | キャリッジを左へ移動 | | |
| メディア幅と メディア長を検出 | キャリッジを右へ移動 | | |
| | メディアを奥へ移動 | 1つ前の機能に戻る | 1つ前の値を選択 |
| | メディアを前に移動 | 次の機能に移る | 次の値を選択 |

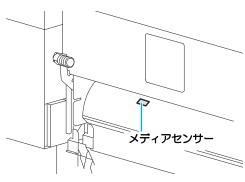
メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長 - を検出します。

プラテン上(背面側)にメディアセンサーが 1 箇所あります。

(重要!)

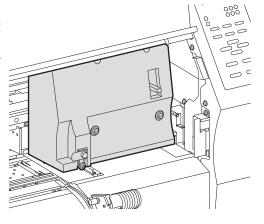
メディアは、必ずプラテン後部側のメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。



キャリッジ

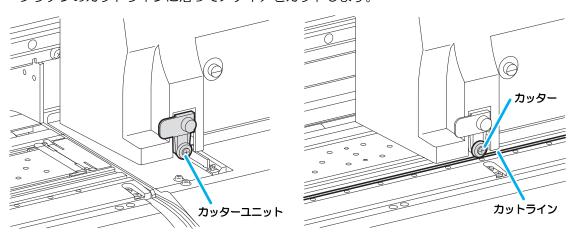
キャリッジには、作図用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。

また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを 2段階に調整するレバーが付いています。 (愛 P.2-6)



カッター刃とカットライン

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。 プラテンのカットラインに沿ってメディアをカットします。



キャッピングステーション

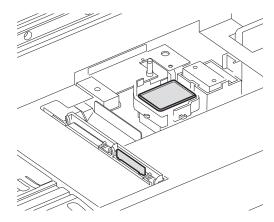


キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着 用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップや ヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構 成されています。

インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを 防ぎます。

ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。 ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメ ディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換して ください。

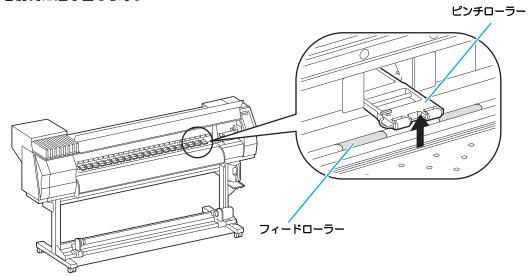


ピンチローラーとフィードローラー

重要!)

• 本装置を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、作図時にメディアを前側に送り出します。



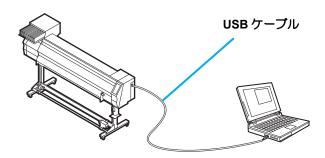
ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本装置をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。



- ご使用の RIP が USB2.0 イ ンターフェイスに対応して いる必要があります。
- USB2.0 インターフェイスが コンピュータに付いていな い場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所 までお問い合わせください。



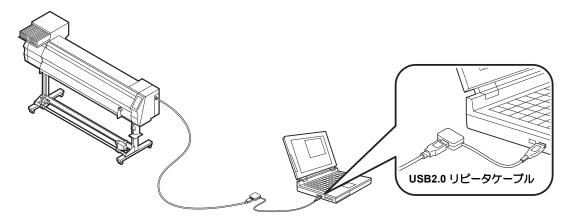
USB 2.0 インターフェイスについての注意事項



• ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● 1 台のパソコンに複数の TS30 を接続する場合

1台のパソコンに TS30 を複数台接続する場合、TS30 を正常に認識できない場合があります。 複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して TS30 を認識 できるか確認してください。 USB ポートを変えても TS30 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。



● USB ハイスピードモードの周辺機器について

TS30 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など)を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。

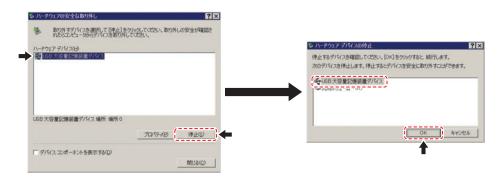
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに TS30 を接続した場合、TS30 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、作図中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリの抜きかた

TS30 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。

[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。

スプールデータをハードディスクにコピーした後、作図出力してください。

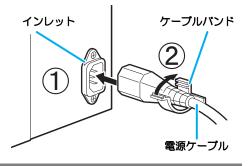


電源ケーブルを接続する

- 1
- 電源ケーブルを本装置のイン レットに差し込む
- 2

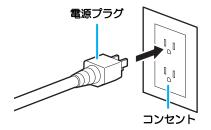
ケーブルバンドを固定する

本装置に備え付けのケーブルバンドでケーブルを固定します。



3

電源プラグをコンセントに差し込む





• 付属品の電源ケーブル以外は使用しないでください。



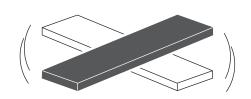
- ・必ず本装置の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
- 電源ケーブルのプラグは、アース処理したコンセントに接続してください。感電・ 火災の原因となります。

インクカートリッジを入れる

インクカートリッジを挿入します。

1

図のようにして、インクカート リッジを振る



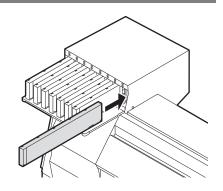
2

インクカートリッジを差し込 む

- IC チップがある方を左側に向けて、 縦にして差し込んでください。
- ディスプレイには、次のように色を 表示します。

ブラック : K, ブルー:B, マゼンダ :M, イエロー : Y. ライトブルー : b.

ライトマゼンダ:m、 ライトブラック:k



インクカートリッジを交換する

ディスプレイに [インクエンド] や [インクニアエンド] などが表示されたときは、次のようにしてください。

- [インクエンド] が表示されたとき
 - (1) 交換するインクカートリッジを引き抜く
 - (2) IC チップの向きに注意して、新しいインクカートリッジを差し込む
- [インクニアエンド] が表示されたとき

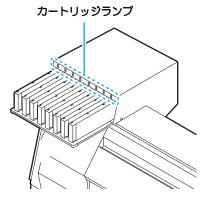
インク残量が少なくなっています。続けて作図をすることはできますが、作図中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクカートリッジの交換をすることをお勧めします。

重要!

• [インクニアエンド]表示中は、作図中クリーニングの設定ができなくなります。 (②P.3-18)

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの上にあるランプで、セット中のインクカートリッジの状態を確認することができます。



| | ランプの∜ | 犬態 | 説明 | |
|--|-------------|----|--|--|
| | | 消灯 | 異常なし | |
| | 上段 赤色ランプ | 点滅 | 次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクニアエンド ・インクエンド ・インク期限切れ (1ヶ月) | |
| | | 点灯 | 次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクの残量が0になった ・インクカートリッジが挿入されていない ・その他のインクエラー((を) P.5-5) | |
| | 消灯 | | 異常なし | |
| | 下段 緑色ランプ | 点灯 | 4 色インクセットでお使いのとき、本機はインク残量の少ないインクカートリッジからインク供給を行います。この場合、使用中のカートリッジのランプが緑点灯します。 | |

インクカートリッジ取り扱い上のご注意



- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流し、 まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてく ださい。
- 本装置には専用のインクカートリッジをお使いください。本装置は、専用のインクカートリッジを認識して動作します。インクカートリッジ等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。
- インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。



- インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。 また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっ さい責任を負いかねます。
- インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。 基板の故障の原因になります。



インクカートリッジは分解しないでください。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

| | 機種名 | TS30-1300 |
|-------------|--------|----------------|
| 最 | 大幅 | 1371mm |
| 最 | 小幅 | 210mm |
| 最 | 大作図範囲 | 1361mm |
| F | 厚さ | 1.0mm 以下 |
| \succ | ロール外径 | Ф180mm 以下 |
| Į Į Į | ロール重量 | 25kg 以下 |
| XX | 紙管内径 | 2 インチまたは 3 インチ |
| | 作図面 | ロール外側面 |
| | 巻き終り処理 | 紙管にテープ止めまたは弱粘着 |

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。



- ・ **推奨メディアをご使用ください。** 安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- ・メディアの伸縮にご注意ください。 包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。 紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

メニューモードについて

本装置には4つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。(REMOTE)/(TEST DRAW) キー以外のキーが有効です。

ローカルモード

ローカルモードは、作図準備状態のモードです。

全てのキーが有効です。

コンピュータから、データを受信できます。ただし、作図は行いません。



ローカルモードでは以下の操作が可能です。

- ジョグキーを押して、作図原点や作図範囲を設定します。
- (TEST DRAW) キーを押して、「テスト作図」を行います。
- (CLEANING) キーを押して「ヘッドクリーニング」を行います。
- 《FUNCTION》キーを押して、各種機能を設定します。(→ファンクションモードへ)
- **ENTER** キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。
- (REMOTE) キーを押して、「ローカルモード」と「リモートモード」を切り替えます。
- (DATA CLEAR) キーを押して、受信した作図データを消去します。
- (USER TYPE) キーを押して、ユーザータイプを変更します。
- (ST.MAINTE) キーを押して、メンテナンス機能の[ステーションメンテナンス]をダイレクト に選択します。

ファンクションモード

ローカルモード時に、FUNCTION キーを押すとファンクションモードになります。 各ファンクション機能を設定します。

リモートモード

受信したデータを作図します。 作図中に(REMOTE)キーを押すと、一時停止します。

第2章 基本的な使い方



この章では ...

インクやメデイアの準備から作図までの手順や設定方法について説明します。

| ユーザータイプについて 2-2 | テスト作図をする 2-16 |
|-------------------|--------------------|
| ユーザータイプに登録できる | テスト作図を行う2-16 |
| | ヘッドクリーニングを実行する2-17 |
| 登録したユーザータイプを | データを作図する 2-18 |
| 使用する2-2 | 作図を開始する2-18 |
| 作業の流れ2-3 | 作図を中止する2-19 |
| 電源を入れる/切る2-4 | 受信したデータを消去する |
| | (データクリア)2-19 |
| 電源を切る2-5 | メディアをカットする2-20 |
| メディアをセットする2-6 | |
| ヘッド高さを調整する2-6 | |
| ロールメディアをセットする2-8 | |
| リーフメディアをセットする2-13 | |
| 原点を変更する場合は2-15 | |

ユーザータイプについて

本装置を使って作図をするとき、メディアの特性に合わせたプリント設定を作成(ユーザータイプの設定)することにより、より高画質な作図を実現することができます。 本装置では、ユーザータイプ1~4の4種類のタイプを設定できます。

ユーザータイプに登録できる設定内容

ユーザータイプ(1~4)への登録方法は、P.3-2を参照してください。

| 設定項目 | 参照ページ | 設定項目 | 参照ページ | |
|------------|-------------|--------------|--------|--|
| メディア補正の設定 | P.3-5 | リフレッシュの設定 | | |
| 作図方式の設定 | P.3-8 吸着の設定 | | P.3-24 | |
| 重ね塗りの設定 | P.3-24 | フィード速度レベルの設定 | \neg | |
| 乾燥時間の設定 | P.3-12 | 優先順位の設定 | P.3-14 | |
| オートカットの設定 | P.3-24 | オートクリーニングの設定 | P.3-16 | |
| プリフィードの設定 | F.J-24 | 作図中クリーニングの設定 | P.3-18 | |
| マージンの設定 | P.3-13 | メディア検出の設定 | P.3-20 | |
| カラーパターンの設定 | P.3-24 | 送り原点の設定 | P.3-24 | |

登録したユーザータイプを使用する

1 ローカルモードで、
USER TYPE キーを押す

< ローカル. 1 > [#01] ハハ****mm

2

▲ ▼ でユーザータイプ (1 ~ 4) を選択する

ユーサ*ータイフ° ヘンコウ タイフ° (1)-> 〈**2**〉 :ent

• (USER TYPE) キーを押しても選択できます。

3

ENTER)キーを押す



(USER TYPE)を使わないでユーザータイプを選ぶには

(USER TYPE) キーを押さなくても、ローカルモードから(FUNCTION) キーを使ってユーザータイプを選ぶことができます。

ローカルモードで FUNCTION を押す [セッテイ]を確認 後、ENTER を押す ▲ ▼ を押し てユーザータイプ (1~4)を選ぶ

ENTER を押す

電源を入れる/切る

「電源を入れる / 切る」((な) P.2-4) を参照してください。

メディアをセットする

「メディアをセットする」(@PP.2-6)を 参照してください。

テスト作図をする

「テスト作図をする」(*©* P.2-16)を参照してください。

◢ データを作図する

「データを作図する」(CGP P.2-18) を参照 してください。

電源を入れる/切る

電源を入れる

本装置には、2つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ: 本装置の側面にあります。常時「オン」にしておいてください。 : 通常、電源のオン/オフをするときはこのスイッチを使用します。

電源スイッチ

電源がオンのときは電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると緑色に

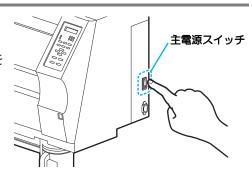
点滅します。

電源スイッチがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば(電源 スイッチが緑色点滅)、定期的に電源が自動的に入り、ノズル詰まり防止

機能が動作します。

主電源スイッチを入れる

• 装置側面にある主電源スイッチを 「川側に倒します。



電源をオンにするとファームウェア のバージョンを表示します。

初期動作を実行します。

TS30-1300 V*.**

シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

2

ローカルモードになる

〈ロ―カル. 1 〉 [#01]

接続しているコンピュータの電源をオンにする

(重要!)

- フロントカバー/メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。
- 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因 となります。

電源を切る

プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。(②P.5-8「エラーメッセージ」)

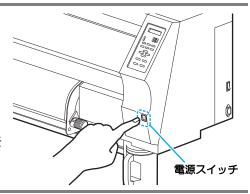
1

接続してあるコンピュータの 電源をオフにする

2

電源スイッチを押して、電源 を切る

- 電源スイッチが緑色に点滅します。
- 装置側面にある主電源スイッチは、 切らないでください。
- 次に、本装置をご使用になるときは、 電源スイッチを押して緑色ランプを 点灯させてからお使いください。



電源を切るときのご注意

● 主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能(フラッシング機能)が働きます。

主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のスリープ機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

- フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。カバーが開いていると、フラッシング等のスリープ機能が働かなくなります。
- ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥 してノズル詰まりの原因となります。

このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

- 作図中は電源を切らないでください。
 - ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。
- 電源スイッチを切ってから、主電源スイッチを切ってください。 装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある 電源スイッチを押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから 主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本装置では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。 使用できるメディアについては、P.1-14「使用可能メディアサイズ」を参照してください。

ヘッド高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

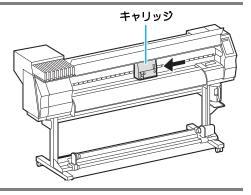
(重要!

- ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に行ってください。メディアをセットしたあとに調整すると、メディア詰まりや作図品質の低下、ヘッドの破損の原因となります。
- 使用目的に応じ、ヘッド、イニシャル高さのレンジを2段階に調整できます。
- TS30 の印刷高さ範囲は、一般印刷 (L レンジ:2mm/3mm) から転写印刷 (H レンジ:4mm/5mm) です。(出荷時は、L レンジ 2mm で設定)
- 作図品質を"ソウホウコウ"にセット(②P.3-10)している場合、ヘッド高さの調整後にメンテナンス機能の「ドット位置補正」をしてください。(②P.4-23)

1

キャリッジをプラテン上に移 動する

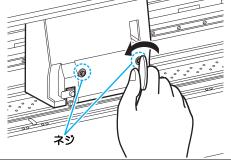
- 電源オン時 メンテナンス機能の「ステーション メンテナンス - キャリッジアウト」 を実行(公配 P.4-6 手順 1.2)
- 電源オフ時 フロントカバーを開け、手でキャ リッジを動かす



2

正面にある2ヶのネジを緩める

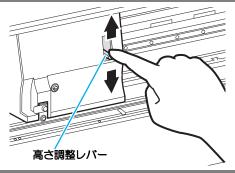
ドライバー等を使って、1 回程度回して緩める



3

高さ調整レバーをメディアに応 じて調整する

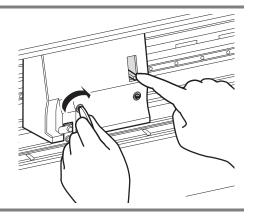
- 「調整レバーとレンジについて」を参照して、レバーの位置を調整してください。
- 高さ調整レバーは、確実に上か下に 設定してください。レバーが中間に あると、作図異常をおこします。



4

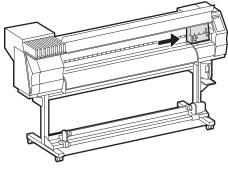
高さ調整レバーを押さえたまま、2ヶのネジを締める

- 必ず、高さ調整レバーを押さえなが らでネジを締めてください。正常な 位置にヘッドを固定できません。
- ネジは緩まないように確実に締めて ください。



5

キャリッジをステーションに 戻す



調整レバーとレンジについて

| レンジ | 高さ調整レバー | ヘッド高さ | 切換エリア | |
|------------------|-------------|------------------|--------------|---|
| Lレンジ | Thin / ウスイ | 2mm (出荷時設定位置) | | サービスマン切換 L⇔Hの変更に ついては、弊社営業 へお問い合わせくだ |
| (一般印刷) | Thick / アツイ | 3mm | ユーザー切換 | |
| H レンジ (転写系印刷) | Thin / ウスイ | 4mm | | |
| | Thick / アツイ | 5mm | | さい。 |



- 厚いメディアをお使いになる場合は、レバーを「厚い (Thick)」にセットしてください。
- ・メディアの種類により、ヘッドにホコリが付着しやすい場合やインクこすれが発生する場合、レバーを「厚い (Thick)」にセットしてください。



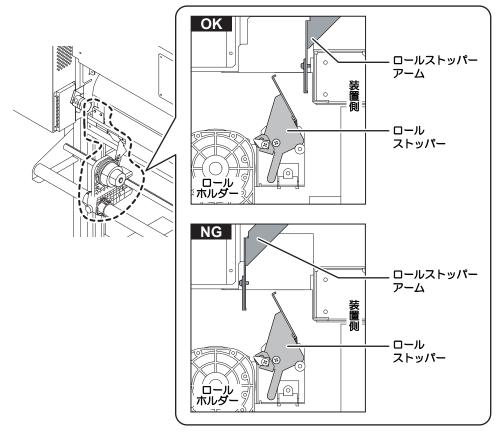
装置設置後に転写インクからその他の水性インクに変更する場合、または水性顔料インクから転写インクに変更する場合、ヘッドイニシャル高さ (H/L レンジ)の調整が必要です。弊社営業にご相談ください。

ロールメディアをセットする

ロールメディアは、装置背面にあるロールメディアハンガーにセットします。



- セットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールストッパーアームはクランプレバーに連動して動きます。 ロールストッパーアームと本体の間にロールストッパーが入り込んだ状態で、クランプレバーを下げないでください。ロールストッパーアームを破損し、ロールストッパー機能*1が使用できなくなることがあります。

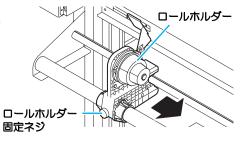


*1. 一定量引き出すと、メディア引き出しが一時固定される機能

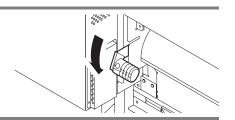


装置背面にあるロールホルダー を、装置中央方向に移動する

ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。



クランプレバーが下がっている ことを確認する



3

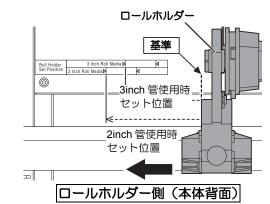
ロールホルダーをロールセット位置へ移動する

基準位置がこの範囲内に 入るように、ロールホル ダーをセットすること。

ı

| | ←→ | • | |
|--------------|--------------------|---------------------|---|
| Roll Holder | 3 Inch Roll Media | > | ◁ |
| Set Position | 2 Inch Roll Media⊳ | 3 Inch Roll Media D | |

ロールメディアの紙管の内径は、2インチと 3インチの2種類があります。



ロールストッパーアームと本体の間に、ロールストッパーが入り込んでいないことを確認してください。

4

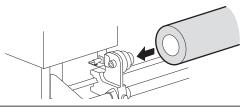
ロールホルダー固定ネジを締める

手順2~3を、再度確認してください。

5

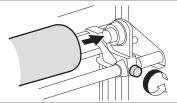
左側のホルダーにロールメ ディアの紙管を差し込む

紙管が動かなくなるまで、奥に差し 込んでください。



6

右側のロールホルダーのネジを緩め、ホルダーに紙管を差し込む

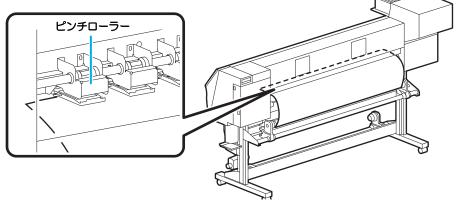


7

装置背面のクランプレバーを上 げる



本装置にロールメディアを差し込む

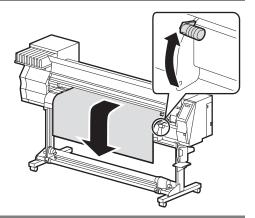


- メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに差し込めます。
- (1) プラテンの先端まで届くくらい、メディアを引き出す
- (2) プラテンとピンチローラーの間にメディアを差し込む
 - 装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。
- (3) 装置背面からクランプレバーを下げる
 - メディアが保持されます。

9

ロールメディアを引き出す

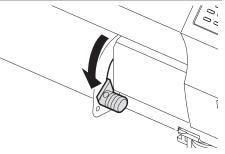
- (1) フロントカバーを開ける
- (2) 装置前面からクランプレバーを上げる
- (3) ロールメディアを静かに引き出し、 軽くロックのかかる位置で止める



10

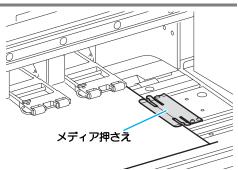
ロールメディアを均等にし、 クランプレバーを下げる

メディアの数カ所を軽く引っ張り、 ロールメディアの引き出し量がほぼ 均等になっているのを確認してか ら、クランプレバーを下げてくださ い。



メディア押えでメディアを軽く はさむ

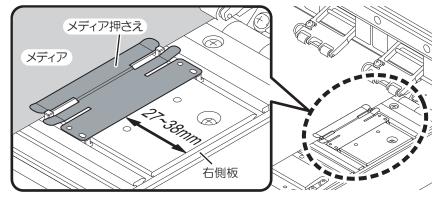
- 右端のピンチローラーより右側にメ ディアがはみ出さないようにセット してください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合 は、メディア押えをメディアから外 して作図してください。





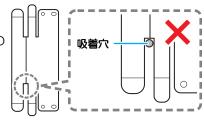
- メディア押さえが右側板に接する位置でメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

***** ERROR 50 *****
メテ゛ィア イチ ミキ゛ スキ゛ マス



メディア押さえの位置:右側版から 27 ~ 38mm (メディア紙管の内径ばらつきにより、上記の範囲で変動します。)

メディアとメディア押さえの間にプラテン上の吸着穴がこないようにお気をつけください。(メディア汚れの原因になります。)



● を押して、"ロール"を選択する

メテ゛ィア センタク

- メディア幅を検出します。
- メンテナンス機能の「メディア残量表示」の 設定が "ON" の場合 (※ P.4-33)、メディア 幅の検出後メディア残量入力画面を表示し ます。(※ P.2-12)

メディア残量入力について

メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定を "ON" にしている場合 (② P.4-33)、メディア幅の検出が終了すると、メディア残量の入力画面が表示されます。

1

メディア残量入力画面を 表示する

メテ゛ィア ナカ゛サ ニュウリョク メテ゛ィア ナカ゛サ $= x \times x \times m$

2

▲ ▼ を押して、メディア残量 を入力する

メテ゛ィア ナカ゛サ ニュウリョク メテ゛ィア ナカ゛サ = 50.0m

3

ENTER キーを押す

リーフメディアをセットする

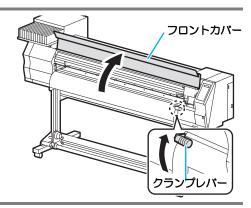
リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

1

フロントカバーを開ける

2

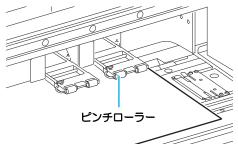
クランプレバーを上げる



3

リーフメディアをピンチロー ラーとプラテンの間に差し込 む

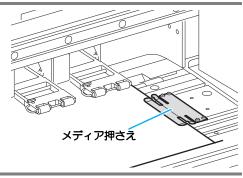
メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。



4

メディア押えでメディアを軽 くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメ ディアがはみ出さないようにセット してください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合 は、メディア押えをメディアから外 して作図してください。



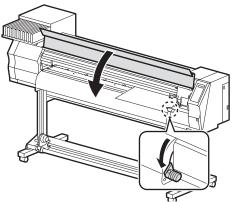
5

クランプレバーを下げる

メディアはまっすぐにセットしてく ださい。



フロントカバーを閉じる



ENTER キーを押す

8

▶ を押して、"リーフ"を選択する

メテ゛ィア センタク ロール〈 〉リーフ

9

メディアの検出を始める

メテ゛ィア ケンシュツ チュウ シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

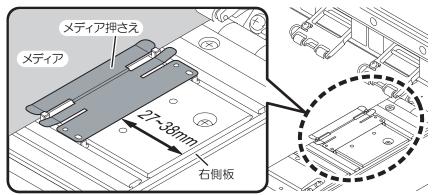
- (1) メディア幅を検出する
- (2) メディアがフィードし、メディア後端の検出をする
- (3) 検出が終わると、ローカルモードに戻る

メディア押さえをお使いになるときの注意事項



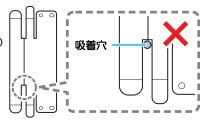
- メディア押さえが右側板に接する位置でメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。
- ・メディアが規定位置より右に寄っていると、メ ディア検出後、次の警告を表示してお知らせし ます。メディアをセットし直してください。

***** ERROR 50 ***** メテ゛ィア イチ ミキ゛ スキ゛ マス



メディア押さえの位置:右側版から 27 ~ 38mm (メディア紙管の内径ばらつきにより、上記の範囲で変動します。)

メディアとメディア押さえの間にプラテン上の吸着穴がこないようにお気をつけください。(メディア汚れの原因になります。)



原点を変更する場合は

作図原点の位置を変更することができます。 変更したい位置へ LED ポインタを移動させて決定します。

1

□ーカルモードで、

ケ゛ンテン セッテイ 0.0 ——

原点設定モードになります。

2

▲ ▼ ● を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

・ (本) (す) でキャリッジとメディアを移動させて選びます。



3

作図原点を決定したら ENTER キー を押す

ケ゛ンテン セッテイ ** ケ゛ンテン **

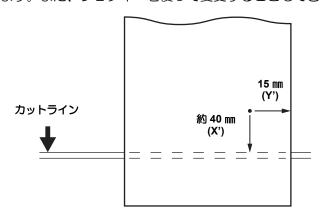
原点が変更されます。



• ここで設定した原点位置は、メディアの送り方向に対して数センチずれています。 セッテイモードの「オクリゲンテン」を "ON" にすれば、原点を LED ポインタの光 点位置に正確に合わせることができます。(公子 P.3-4)

原点設定位置の目安

作図原点は、奥行方向 (X') はカットラインから奥側約 40 mm の位置になります。 横方向 (Y') の値は、メディア右端より 15 mm です。セッテイモードの「マージン」(公子 P.3-3) により変更できます。また、ジョグキーを使って変更することもできます。



テスト作図をする

テスト作図を行い、ノズル詰まりなどの吐出不良(カスレや抜け)がないか確認します。

テスト作図を行う

(重要!)

- リーフメディアを使用する場合、A4 サイズ縦置き以上のサイズのメディアをセッ トしてください。
- ロールメディアを使用する場合、作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻。 し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

テスト作図の前に

・メディアをセットしているか(全) P.2-6 |・原点位置をセットしているか

確認してください

•ヘッド高さを調整しているか(2g) P.2-6

ローカルモードで、 TEST DRAW) キーを押す

テスト サクス * (FEED ホウコウ) <ENT>

- (▼)を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。ここで変更し た配置方向は、テスト作図が終わると P.3-32 で設定した配置方向に戻ります。
- 配置方向を "SCAN ホウコウ" から "FEED ホウコウ" に変更してテスト作図を実 行すると、1つめのテスト作図の位置に改行されます。
- テスト作図の配置方向について、詳しくは P.3-32 を参照してください。

ENTER)キーを押す

テスト作図を開始します。

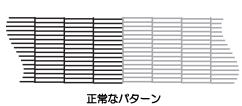
作図が終わると、ローカルモードに 戻ります。

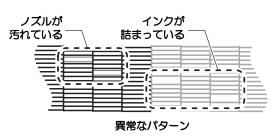
< ローカル. 1 > [#01] /V\": ***mm

** テスト サクス **

作図結果を確認する

- ・正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(🖙 P.2-17)





ヘッドクリーニングを実行する

ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターン作図の結果によって使い分けてください。

ノーマル:線の抜けがある時

ソフト : ヘッドワイプのみ実行したい時(線の曲がりがある場合)

ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても作図不良が改善しない時

1

ローカルモードで、<u>CLEANING</u>キー を押す ੑੑੑੑੑ クリーニンク゛ ੑੑੑੑੑ タイフ゜ : ノーマル

2

▲ できます を押して、クリーニングタイプを選択する

クリーニンク゛ タイフ゜ : ハート゛

> クリーニンク * チュウ 00:00

3

ENTER キーを押す

クリーニングの残り時間をディスプレイの下段に表示します。

クリーニングが終わると、ローカルモードに 戻ります。

4

再度テスト作図を実行し、作図結果を確認する

• 作図結果が正常になるまで、クリーニングとテスト作図を繰り返してください。



ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合

- ワイパーとインクキャップのクリーニングをする(② P.4-6)
- ヘッドノズルの洗浄をする (②P.4-10)
- •「ノズル詰まりが復旧しない場合」を参照して画質不良を解消する(公P.4-18)

データを作図する

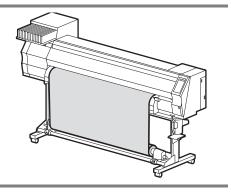
作図を開始する

重要!

ロールメディアを使用する場合、作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

1

メディアをセットする ((②) P.2-6)



2

ローカルモードで、(REMOTE)キーを 押す

'Jモート.1 [#01] 0.0m

リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

3

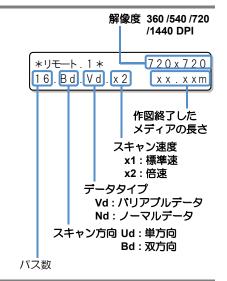
コンピュータから作図するデー タを送信する

- ACTIVE ランプが点滅し、作図条件を表示します。
- データの送信方法については、出力 ソフトウェアの取扱説明書をお読み ください。

4

作図開始

解像度によっては同じデータを作図 しても、セットしたメディアの幅や 作図原点の位置によって作図速度が 変化する場合があります。



作図を中止する

作図を途中で中止する場合、次の操作をしてください。



作図中に、REMOTE)キーを押す

< ローカル. 1 > [#01] ノン、*: 1272mm

- 作図動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を 止めます。
- 再度 REMOTE キーを押すと、中断したデータから作図を再開します。

受信したデータを消去する(データクリア)

作図を中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1

テ゛ーター クリア

<ENT>

2

ENTER キーを押します。

** テ゛ーター クリア **

- ACTIVE ランプが消灯します。
- ・受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。

メディアをカットする

ロールメディアで作図終了後にメディアをカットするには、次の2つの方法があります。



メディアをカットしたとき、印刷面が床や他の印刷面に触れないようにお気をつけください。

オートカット

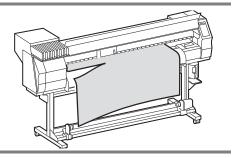
作図終了後、自動的にメディアをカットします。



- オートカットには設定が必要です。(お買い上げ時は、オートカット機能が "OFF" になっています。)
- オートカット機能を"オフ"にしているときは、「マニュアルカット」の操作をして、メディアをカットしてください。

1

作図が終了したら、自動的にメ ディアをカットする



マニュアルカット

操作パネル上のキーを使い、任意の位置でメディアをカットします。

1

ケ゛ンテン セッテイ 0.0 ——

- 原点設定モードになります。
- を押して、カットする位置までメディアをフィードします。

2

(FUNCTION) キーを押す

メテ゛ィア カット

<ENT>

3

ENTER)キーを押す

- メディアをカットします。
- カットが終了すると、ローカルモードに戻ります。

メテ゛ィア カット チュウ シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

第3章便利な使い方



この章では ...

設定した内容を初期状態に戻す....... 3-26

本装置をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

| ユーサータイノについて 3-2 | マシン設定 3-27 |
|------------------------|---------------------|
| 作図条件をまとめて登録する | ハイキファンの設定をする3-28 |
| (タイプ登録)3-2 | カンソウフィードの設定をする3-29 |
| タイプ登録のしかた3-2 | スタンプの設定をする3-30 |
| メディア補正の設定をする3-5 | テストサクズハイチの設定をする3-32 |
| メディア補正の設定3-5 | シツオンの動作条件を変更する3-34 |
| 作図方式の設定をする3-8 | カクニンフィードの設定をする3-36 |
| 作図品質の設定3-8 | ジコクの設定をする3-37 |
| スキャン方向の設定3-10 | タンイの設定をする3-38 |
| ロジカルシークの設定3-11 | マシンメイショウの設定をする3-39 |
| 乾燥時間の設定をする3-12 | キーブザーの設定をする3-40 |
| マージンの設定をする3-13 | インクの有効期限を延長する 3-41 |
| 優先順位の設定をする3-14 | インクの有効期限を延長する3-41 |
| オートクリーニングの設定をする 3-16 | インク供給経路の切替設定3-43 |
| 作図中クリーニングの設定をする 3-18 | 装置情報を確認する3-45 |
| メディア検出の設定をする 3-20 | 情報を表示させる3-45 |
| パス間のシマを軽減する設定をする. 3-22 | |
| その他の設定 3-24 | |

ユーザータイプについて

作図条件をまとめて登録する(タイプ登録)

本装置では、タイプ(1~4)ごとに作図条件を登録できます。 お使いになるメディアに合わせた作図条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに 交換したとき、タイプを変更するだけで最適の作図条件を設定できます。

タイプ登録の例

| タイプ 1 | フォトペーパー |
|-------|---------|
| タイプ 2 | PET用1 |
| タイプ 3 | PET 用 2 |
| タイプ 4 | 合成紙 |

タイプ登録のしかた

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2

ENTER キーを押す

セッテイ センタク : タイフ°1

3

▲ ▼ を押してタイプ(1 ~ 4)を選び、 (ENTER) キーを押す

4

設定機能一覧表の各項目を選び、設定する

• 詳細な設定方法は「設定機能一覧表」に記載した参照ページをご覧ください。

設定機能一覧表

ユーザータイプに登録できる各設定機能の概要と設定値について説明します。 お買い上げ時は、下線の設定になっています。

| 機能名称 | | 設定値 | 概要 | |
|----------------------|------------|--|--|--|
| メディアホセイ (ﷺ P.3-5) | | -255 ∼ <u>0</u> ∼ 255 | メディアの送り量を補正す るためのパターンを作図し、 補正します。 | |
| サクズ | DRAFT ヒンシツ | <u>ヒョウジュン</u> /ハヤイ/キレイ | 作図品質、作図方向を設定し | |
| ホウシキ (頌 P.3-8) | FINE ヒンシツ | <u>ヒョウジュン</u> /ハヤイ/キレイ | ます。 | |
| (😂 1.00) | スキャンホウコウ | ソウホウコウ / <u>タンホウコウ</u> | | |
| | ロジカルシーク | <u>ON</u> / OFF | | |
| | シロ カサネサクズ | OFF / ON(LEVEL1~3) | | |
| カサネヌリ (🥨 | P.3-24) | 1~9 | インクの重ね塗りを行います。 | |
| カンソウ | スキャン | 0.0 \sim 19.9 sec | インクの乾燥時間を設定し | |
| ジカン (ੴ P.3-12) | サクズエンド | $\underline{0}$ \sim 999 sec | ます。 | |
| オートカット | (ੴ P.3-24) | ON / OFF | 作図後、自動でメディアを カットします。 | |
| プリフィード (۞ P.3-24) | | ON / OFF | 作図前にメディアを前後搬送させます。 貼り付きやすいメディアを 使用する場合、ON にしてく ださい。 | |
| マージン | ヒダリ | -10~ <u>0</u> ~85mm (1mm 単位) | メディア左右の余白を設定 | |
| (ﷺ P.3-13) | ミギ | -10~ <u>0</u> ~85mm (1mm 単位) | します。 | |
| カラーパターン (22 P.3-24) | | ON / OFF | メディア右端にカラーパ ターンを作図します。 | |
| リフレッシュ (颂 P.3-24) | | レベル <u>0(リフレッシュ間隔長い)</u> ~3(間隔短い) | 作図中に、インクヘッドのリ フレッシュを行います。 | |
| キュウチャク (② P.3-24) | | OFF/ <u>ヒョウジュン</u> /ヨワイ/ ヤヤヨワイ/ツヨイ | メディアの吸着する力を設 定します。 | |
| フィードソクドレベル (②P.3-24) | | 10 ~ <u>100</u> ~ 200% 10% 6mm/sec 100% 60mm/sec 200% 120mm/sec | 作図中などにメディア送り をする速度を変更します。 | |

| 機能名称 | | | 設定値 | 概要 |
|--|------------------------|---------|--|--|
| ユウセンジュンイ (頌 P.3-14) | | 3-14) | コベツセッテイ / <u>スベテホスト</u> / スベテパネル | 優先する設定(パネル/ホスト)を決定します。 コベツセッテイ選択時は、以下の各項目について個別に設定 ・メディアホセイ・サクズホウシキ・カサネヌリ ・カンソウシカン・オートカット・プリフィード・マージン・カラーパターン・リフレッチャク・フィードソクドレベル |
| オートク リーニング (頌 P.3-16) | ON OFF | カンカクタイプ | 10~1000~10000 mm <u>ノーマル</u> /ソフト/ハード | 作図ごとに行う、ヘッドの 自動クリーニング動作を設 定します。 |
| サクズチュ ウクリーニ ング (公配 P.3-18) | ON OFF | カンカクタイプ | 10~1000~10000 mm ノーマル/ソフト/ハード | 作図中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。 |
| メディア ケンシュツ (② P.3-20) | ケンシュツホウホウ カットジケンシュツ | | セレクト/ハバ ナシ/ <u>リョウエッジ</u> / ヒダリエッジ/ミギエッジ | メディアの検出方法を設定します。 |
| オクリ ゲンテン (で P.3-24) MAPS(で P.3-22) ON OFF | | 3-24) | ON / OFF | 作図原点の位置変更時、メ ディア送り方向をLEDポイ ンタに合わせたいときに設 定する。 |
| | | _ | -50 ~ <u>0</u> ~ +50% | パス間のシマを軽減します。 |

メディア補正の設定をする

メディアの種類を交換したあと、メディアの送り量を補正してください。 補正値が適切でないと、作図した画像に縞が入るなど、きれいに作図できない場合があります。



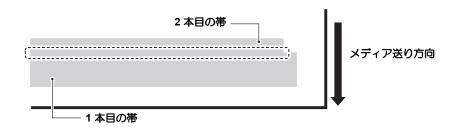
• ロールメディアをご使用の場合、メディア補正を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。 作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

メディア補正の設定

補正パターンを作図して、メディア送り量の補正を行います。



- 補正パターンでは2本の帯を作図します。
- ・2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



- **1** メディアをセットする (頌 P.2-6)
- **2** ローカルモードで、FUNCTION キー を押す (ENT)

▲ ▼ を押して、タイプ(1 ~ 4)を選ぶ

5

ENTER キーを2回押す

[1]メテ゛ィア ホセイ サクス゛ カイシ

:ent

6

ENTER キーを押して、補正パターンを作図する

シハ゛ラク オマチクタ゛サイ サクス゛ チュウ

7

補正パターンを確認し、補正値を入力する

[1]メテ゛ィア ホセイ ホセイチ

= 0

- "+"に入力すると:2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- "-"に入力すると:2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
 - 補正値を "20" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

8

ENTER キーを押す

[1]メテ゛ィア ホセイ サクス゛ カイシ

: ent

- 再度、補正パターンを作図して確認します。補正の必要がある場合は、手順7の操作をし
- 補正の必要がある場合は、手順7の操作をして補正してください。

9

終了するとき、ENDコキーを数回押す

作図中にメディア送りを補正したいときは

リモートモードや画像データの作図中でもメディア送り量の補正ができます。

1

リモートモードで、(FUNCTION) キーを押す

VT-F.1 [#01] **.**mm

> メテ゛ィアオクリ ホセイ 0

2

ENTER キーを押す

メテ゛ィアオクリ ホセイ 0 ▶ 1

3

▲ ▼ を押して、補正量を入力する

- 補正量:-500~500
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されます。

4

ENTER キーを押す

• ENTER キーの代わりに END キーを押 すと、ここで補正した内容は無効となりま す。

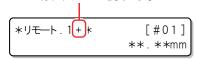
メテ゛ィアオクリ ホセイ ホソ゛ン : **e**nt

5

ENTER キーを押す

- 変更した値が登録されます。
- ENTER キーの代わりに END キーを押すと、ここで補正した内容は一時、有効となります。(再度メディア検出を行うか電源をOFF すると、補正値はクリアされます)

リモートモード中にメディア補正が 行われたことを表します



作図方式の設定をする

作図方式の設定では、作図に関する次の各項目の設定をします。

作図品質 (DRAFT): DRAFT モード (スキャン方向の解像度が 540dpi) の作図品質を設定
 作図品質 (FINE) : FINE モード (スキャン方向の解像度が 720dpi) の作図品質を設定

• スキャン方向 : 作図方向を設定

・ロジカルシーク : ロジカルシークの ON/OFF を設定

作図品質の設定

1

ローカルモードで、 (FUNCTION) キーを押す

FUNCTION セッティ

<ENT>

2

ENTER キーを押す

セッテイ センタク

: タイフ°1

3

▲ ▼ を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、

ENTER)キーを押す

4

▲ を押して、[サクズホウシキ]を選ぶ

[1]

サクス * ホウシキ 〈 e n t >

5

ENTER キーを押す

[1]サクス* ホウシキ DRAFT ヒンシツ

<ent>

6

設定する項目を選ぶ

- (1) **(1)** を押して [DRAFT ヒンシツ] または [FINE ヒンシツ] を選ぶ(ここでは、[DRAFT ヒンシツ] を選択)
- (2) ENTER を押す

7

▲ ▼ を押して、作図品質を 選ぶ

[1] サクス * ホウシキ DRAFT ヒンシツ : **ビ**ョウシ *ュン

- ・ 設定値: ヒョウジュン/ハヤイ/キレイ
- ここで設定を終了する場合は、ENTER キーを押して、手順 10 へ進みます。

各解像度での作図品質の詳細を変更したい場合

(FUNCTION) キーを押して、解像度を 選ぶ [1]DRAFT ヒンシツ 540x720 <ent>

- 設定値:540x720,540x900,540x1080 dpi (DRAFT 選択時) 720x540,720x720,720x1080,720x1440 dpi (FINE 選択時)
- (2) ENTER を押す

9

パス数と作図速度を選ぶ

[1]DRAFT ヒンシツ

PASS=8: スキャン=ヒョウシ ・ュン

- **(1) ▲ ▼** でパス数を選び、 **▶** を押す
- (2) ▲ で作図速度 (コウソクまたはヒョウジュン) を選ぶ
- (3) ENTER を押す
- パス数は、インクセットの内容や手順 8 で選んだ解像度により設定値が異なります。「設定可能な要素の組み合わせ」を参照して、パス数を選んでください。

10

終了するとき、ENDキーを数回押す

設定可能な要素の組み合わせ

DRAFT 品質

| 解像度 | 4 色 | | 6 色 | | |
|-----------------|------|---------|------|-------|--|
| (dpi) | Pass | 速度 | Pass | 速度 | |
| | 2 | 標準 | | | |
| 540x720 | 4 | | 8 | | |
| dpi | 8 | 高速/標準 | 16 | 高速/標準 | |
| | 16 | | 32 | | |
| = 40,000 | 10 | 高速 / 標準 | 10 | 高速/標準 | |
| 540x900 dpi | 20 | | 20 | | |
| | 40 | | 40 | | |
| 5.40 .4000 | 6 | | 12 | | |
| 540x1080 dpi | 12 | 高速/標準 | 24 | 高速/標準 | |
| ωpi | 24 | | 48 | | |

FINE 品質

| 解像度 | | 4色 | 6色 | |
|-----------------|------|---------|------|---------|
| (dpi) | Pass | 速度 | Pass | 速度 |
| 700540 | 6 | | 6 | |
| 720x540 dpi | 12 | 高速 / 標準 | 12 | 高速 / 標準 |
| σ.p. | 24 | | 24 | |
| 700700 | 4 | | 8 | 高速 / 標準 |
| 720x720 dpi | 8 | 高速 / 標準 | 16 | |
| | 16 | | 32 | |
| 700-4000 | 6 | | 12 | |
| 720x1080 dpi | 12 | 高速 / 標準 | 24 | 高速 / 標準 |
| о.р. | 24 | | 48 | |
| 700-4440 | 8 | | 16 | |
| 720x1440 dpi | 16 | 高速/標準 | 32 | 高速 / 標準 |
| ~p. | 32 | | 64 | |

スキャン方向の設定

1

P.3-8 手順 5 までの操作をする

[1]サクス゛ ホウシキ DRAFT ヒンシツ

< e n t >

2

▲ を押して、
[スキャンホウコウ]を選ぶ

[1]サクス゛ ホウシキ スキャン ホウコウ

< e n t >

3

ENTER キーを押す

[1]サクス゛ ホウシキ スキャン ホウコウ

: ソウホウコウ

4

● ▼ を押して、スキャン方向を選ぶ

[1]サクス゛ ホウシキ スキャン ホウコウ

: <mark>タ</mark>ンホウコウ

• 設定値: ソウホウコウ、タンホウコウ

5

ENTER)キーを押す

[1]サクス * ホウシキ スキャン ホウコウ

<ent>

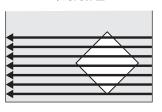
6

終了するとき、ENDキーを数回押す

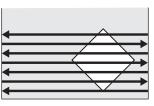
ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、ヘッドの動作が変わります。

単方向作図

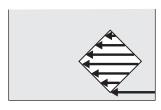


双方向作図

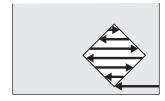


ロジカルシーク OFF 時の ヘッドの動き

単方向作図



双方向作図



ロジカルシーク ON 時のヘッドの動き

P.3-8 手順 5 までの操作をする

[1]サクス* ホウシキ DRAFT ヒンシツ 〈ent〉

2

▲ を押して、[ロジカルシーク]を選ぶ

3

ENTER)キーを押す

[1] サクス゛ ホウシキ ロシ゛カルシーク : **0**N

4

▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ

[1] サクス゛ ホウシキ ロシ゛カルシーク : **0**F F

5

ENTER)キーを押す

6

終了するとき、ENDキーを数回押す

乾燥時間の設定をする

乾燥時間の設定では、インクの乾燥時間に関する次の各項目の設定をします。

・スキャン : スキャン毎のインク乾燥時間を設定(双方向作図の場合は、往路/復路のスキャ

ン毎に設定した時間だけ一時停止する)

・ 作図エンド : 作図終了後のインク乾燥時間を設定

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2

ENTER キーを押す

セッテイ センタク : タイフ°1

3

▲ ▼ を押して、タイプ(1~4)を選び、

ENTER)キーを押す

4

▲ ▼ を押して、[カンソウジカン]を選ぶ

[1] カンソウ シ゛カン 〈ent〉

5

ENTER)キーを押す

 スキャン
 : サクス *エント *

 0 . 0 s
 : 0 s

6

▲ ▼ ● を押して、 乾燥時間を設定する

項目の選択: ・ で選ぶ 時間の設定: ・ で設定

作図後:0~999秒 スキャン:0.0~19.9秒 スキャン ロ.0s サクス・エント・ のs

7

ENTER)キーを押す

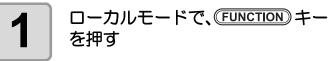
[1] カンプウ・シ゛カン 〈ent〉

8

終了するとき、ENDキーを数回押す

マージンの設定をする

メディアの左右の余白を設定します。 ここでは、標準マージン 15mm に対するオフセット値を設定します。





2

ENTER キーを押す



3

▲ ▼ を押して、タイプ(1 ~ 4)を選び、

ENTER)キーを押す

4 **②** を押して、[マージン]を 選ぶ



5

ENTER)キーを押す



6

▲ ▼ ● を押して、 左右マージンを設定する

項目の選択: ・ で選ぶ 余白の設定: ・ ▼で設定



7

ENTER)キーを押す



8

終了するとき、ENDコキーを数回押す



メディア押さえを使って作図する場合、左右のマージンを-5mm以下に設定すると、メディア押さえの上から作図を開始することがあるのでお気をつけください。

優先順位の設定をする

次の各項目について、本装置での設定 (パネル) を優先するか、コンピュータでの設定 (ホスト) を優先するかを選択します。

選択する項目: メディア補正 / 作図方式 / 重ね塗り / 乾燥時間 / オートカット / プリフィード / マージン / カラーパターン / リフレッシュ / 吸着 / フィード速度レベル

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2

ENTER)キーを押す

セッテイ センタク : タイフ°1

3

▲ ● ● を押して、タイプ(1 ~ 4)を選び、

ENTER キーを押す

4 全でを押して、[ユウセンジュンイ]を選ぶ

[1] コウセンシ゛ュンイ 〈 e n t 〉

5

ENTER キーを押す

[1] ユウセンシ゛ュンイ セッティ : スへ゛テ ハ゜ネル

6

▲ を押して、設定値を選ぶ

[1]ユウセンシ゛ュンイ セッテイ : **ロ**へ゛ツ セッテイ

- 設定値: コベツセッテイ/スベテホスト/ スベテパネル
- [コベツセッテイ]を選んだ場合は手順7へ、[スベテホスト]または[スベテパネル]を選んだ場合は、(ENTER) キーを押してから手順11へ進んでください。

7

(FUNCTION) キーを押す

• メディア補正の設定画面が表示されます。

[1] ユウセンシ゛ュンイ メテ゛ィア ホセイ : <mark>ポ</mark>スト

8

▲ ▼ を押して、"ホスト"または"パネル"を選ぶ

[1]ユウセンシ゛ュンイ メテ゛ィア ホセイ : <mark>✓</mark>°ネル

ENTER キーを押す

- ● を押しても項目の移動ができます。ただし、ENTER キーを押さないと設定値は確定されません。
- 10

手順8、9と同様の操作をして、他の項目も設定する

11

終了するとき、ENDキーを数回押す



・ホスト優先の設定で、ホストからの指定がない項目については、パネルの設定内容が有効となります。

オートクリーニングの設定をする

設定した分の長さだけ作図が終わると自動的にヘッドのクリーニングを実行するように設定できます。

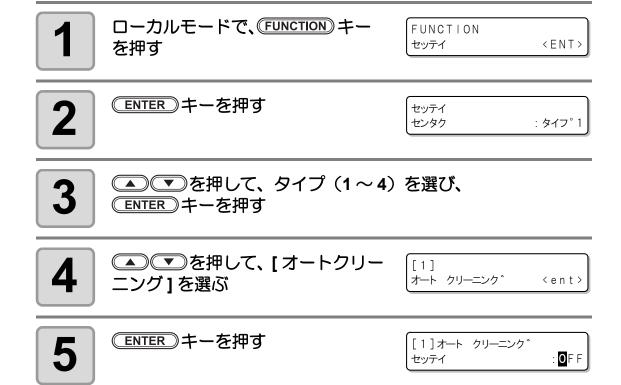
作図が終了すると、本装置が前回ヘッドをクリーニングしてから行った作図長をカウントし、 クリーニングが必要な場合は、自動的にクリーニングを行います。

ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果が持続します。

クリーニングは、装置起動後の最初の作図前に行い、以降は、作図メートル単位で行います。

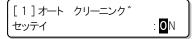


動作間隔が 1000 ㎜ の場合の例



▲ ▼ を押して、ON を選ぶ

OFF を選んだ場合は、手順9へ進んでください。



7

(FUNCTION) キーを押す

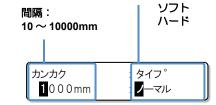
カンカク : タイフ° **1**000mm : **7**ーマル

タイプ: ノーマル

8

▲ ▼ ● を押して、 クリーニング間隔とクリーニング タイプを設定する

・項目の選択 : ・ で選ぶ・ 間隔とタイプの設定 : ・ で設定



9

ENTER キーを押す

10

終了するとき、ENDコキーを数回押す

重要!)

- インクニアエンドが発生している場合、本機能は動作しません。P.1-12「インクカートリッジを交換する」を参照して、インクニアエンドを解消してください。
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行しても作図不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

作図中クリーニングの設定をする

作図中、自動的にヘッドのクリーニングを行うか設定します。 作図中クリーニングでは、クリーニング間隔を作図した長さで設定します。 設定した長さを作図するごとに作図を中断し、自動的にヘッドのクリーニングを行います。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2

ENTER)キーを押す

セッテイ センタク : タイフ°1

3

▲ ● ● を押して、タイプ(1 ~ 4)を選び、

ENTER キーを押す

4

▲ ▼ を押して、[サクズチュウ クリーニング] を選ぶ

[1] サクス゛チュウ クリーニンク゛〈ent〉

5

ENTER キーを押す

[1] サクス゛チュウ クリーニンク゛ セッテイ : **O**F F

6

▲ ▼ を押して、ON を選ぶ

OFF を選んだ場合は、手順9へ進んでくだ さい。 [1] サクス゛チュウ クリーニンク゛ セッテイ : **0**N

7

(FUNCTION) キーを押す

カンカク : タイフ° **1**000mm : **☑**ーマル

8

▲ ▼ ● を押して、クリーニング間隔とクリーニングタイプを設定する

項目の選択 : **・**で選ぶ 間隔とタイプの設定 : **・**で設定 タイプ: ノーマル 関隔: 10~10000mm カンカク 1000mm タイプ。 プーマル

ENTER キーを押す

10

終了するとき、ENDキーを数回押す

重要!

- インクニアエンドが発生している場合、本機能は動作しません。P.1-12「インクカートリッジを交換する」を参照して、インクニアエンドを解消してください。
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行しても作図不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

メディア検出の設定をする

メディアをセットしたときの検出方法とメディアをカットするときの検出タイプを設定します。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2

ENTER キーを押す

セッテイ センタク : タイフ°1

3

▲ ▼ を押して、タイプ(1 ~ 4)を選び、

ENTER キーを押す

4

▲ を押して、[メディアケンシュツ]を選ぶ

[1] メテ゛ィア ケンシュツ 〈ent〉

5

ENTER キーを押す

[1] メテ゛ィア ケンシュツ ケンシュツ ホウホウ 〈 e n t 〉

6

ENTER)キーを押す

・ メディア検出の設定画面が表示されます。

[1] メテ゛ィア ケンシュツ ケンシュツ ホウホウ :<mark>モ</mark>レクト

7

▲ を押して、設定値を選ぶ

セレクト:メディア検出時に・を押してロールメディアかリーフメディ

アかを選ぶ

ハバ: メディア検出時、キー入力はしないでメディアの幅のみ検出する (クランプレバーを下げると、自動的に検出を開始します。)

8

ENTER)キーを押す

9

▼を押して、[カットジケンシュッ]を選ぶ

便利な使い方

10

ENTER キーを押す

[1]メテ゛ィア ケンシュツ ケンシュツ : **リ**ョウ エッシ゛

11

▲●●を押して、設定値を選ぶ

・ 設定値: リョウエッジ/ヒダリエッジ/ミギエッジ/ナシ

12

ENTER キーを押す

13

終了するとき、ENDキーを数回押す

(重要!)

• [カットジケンシュツ] で設定値を"リョウエッジ"以外に設定すると、カット時間は短縮されますが、メディアスキューがあった場合に切り残しが発生する場合があります。

パス間のシマを軽減する設定をする

メディア補正をしても送りシマが解消できない場合 "MAPS (Mimaki Advanced PassSystem) を有効にしてください。パスの境界を分散させることにより、送りシマが目立ちにくくなります。



- MAPS の効果は、プリント速度の設定値で変化します。あらかじめ効果の確認を 行った上で使用してください。
- プリント速度を上げた場合、プリント時間は短くなりますが、MAPS の効果は弱くなります。
- プリント速度を下げた場合、プリント時間は長くなりますが、MAPS の効果が上がり送りシマが目立ちにくくなります。
- MAPS が有効になる解像度とパス数は以下の通りです。
- MAPS 無効となる条件では、MAPS-OFF・プリント速度設定無効 (±0%) で動作します。
- 印刷する画像によっては MAPS の効果が得られない場合があります。
- わずかではありますが色味の変化がみられる場合があります。

| 871/ 2 ct | | | パス数 | | | | |
|----------------------|---|-----|--------|---|-----|--------|--|
| 解像度 (dpi) | | 4 色 | | | 6 色 | | |
| (* 1.*) | Δ | 0 | 0 | Δ | 0 | 0 | |
| 540x720 | 2 | 4 | 8, 16 | | 8 | 16, 32 | |
| 540x1080 | | 6 | 12, 24 | | 12 | 24, 48 | |
| 720x720 | | 4 | 8, 16 | | 8 | 16, 32 | |
| 720x1080 | | 6 | 12, 24 | | 12 | 24, 48 | |
| 720x1440 | | 8 | 16, 32 | | 16 | 32, 64 | |

- ◎ : 高速 / 標準速ともにプリント速度設定は ±50% の範囲で MAPS 動作が可能。
- : 高速時、プリント速度は -50 ~ -1% の範囲。標準速時、プリント速度は ±50% の範囲で MAPS 動作が可能。
- △ :標準速時のみプリント速度設定は -50 ~ -1% の範囲で MAPS 動作可能。

1

ローカルモードで、(FUNCTION) キー を押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2

ENTER キーを押す

セッテイ センタク : タイフ°1

3

▲ ▼ を押して、タイプ(1 ~ 4)を選ぶ

4

ENTER キーを押す

[1] メテ゛ィア ホセイ 〈ent〉 5 を押して、[MAPS] を選 [1] MAPS (ent)

6 ENTER キーを押す [1] MAPS せッティ : OFF

7 全でを押して、ON/OFF を設定する

[1]MAPS セッテイ : ON

• 設定値: OFF, ON

8 ENTER キーを押す

[1]MAPS プ゜リント ソクト゛ : 0%

・ OFF を選択した場合、手順 9 へ進みます。

9 全でを押して、プリント速度を変更する

[1]MAPS プリント ソクト゛ : 10%

• 設定値:-50 ~ +50% (+20% を入力すると、プリント速度が約20%向上し、 -20%を入力するとプリント速度が約20%低下します。)

10 ENTER キーを押す

[1] MAPS <ent>

11 終了するとき、END キーを数回押す

その他の設定

使い方に合わせて設定を変えてください。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2

ENTER)キーを押す

セッテイ センタク : タイフ°1

3

▲ を押してタイプ (1~4) を選び、

ENTER キーを押す

4

▲ ▼ を押して設定する項目を選ぶ

• 設定一覧表を参照して選んでください。

5

ENTER キーを押す

6

▲ を押して設定値を選ぶ

• 設定一覧表を参照して選んでください。

7

ENTER)キーを押す

8

終了するとき、ENDキーを数回押す

重要!

• 設定した値は、電源を "OFF" にしても保持しています。

設定一覧表

お買い上げ時は、下線の設定になっています。

| 機能名 | 概要 | 設定値 | |
|------------------|---|--|--|
| メディア補正の設定 | メディアの送り量を補正。 | P.3-5 を参照してください | |
| | 作図品質を設定。 | | |
| 作図方式の設定 | スキャン方向を設定。 | P.3-8 を参照してください | |
| | ロジカルシークを設定。 | | |
| 重ね塗りの設定 | インクの重ね塗り回数を設定。 | 1~9□ | |
| 乾燥時間の設定 | スキャンごとのインクの乾燥時間 を設定。 | D2 40 左台四 レアノださい | |
| \$Z 柴时间の設定 | 作図終了後のインクの乾燥時間 を設定。 | P.3-12 を参照してください | |
| オートカットの設定 | 作図後、自動でメディアをカット するか設定。 | ON / OFF | |
| プリフィードの設定 | 作図前にメディアを前後搬送させ るか設定。 | ON / OFF | |
| マージンの設定 | メディア左余白を設定。 | P.3-13 を参照してください | |
| マーシンの設定 | メディア右余白を設定。 | P.3-13 を参照してください | |
| カラーパターンの設定 | メディア右端にカラーパターン を作図するか設定。 | ON / OFF | |
| リフレッシュの設定 | ヘッドのリフレッシュレベルを 設定。 | <u>0</u> ~ 3 | |
| 吸着の設定 | メディアを吸着する力を設定。 | ツヨイ/ <u>ヒョウジュン</u> /ヤヤヨワ イ/ヨワイ <i>/</i> OFF | |
| フィード速度レベルの 設定 | 作図中などにメディア送りをする 速度を変更する。 | 10 ∼ <u>100</u> ∼ 200% | |
| 優先順位の設定 | 優先する設定 (パネル/ホスト)を 決定する。 | コベツセッテイ <i>I</i> スベテホスト <i>I</i> スベテパネル | |
| オートクリーニングの 設定 | 作図ごとに行う、ヘッドの自動 クリーニング動作を設定。 | P.3-16 を参照してください | |
| 作図中クリーニングの 設定 | 作図中に行う、ヘッドの自動 クリーニング動作を設定。 | P.3-18 を参照してください | |
| メディア検出の設定 | メディア検出動作を設定。 | P.3-20 を参照してください | |
| クノ 1 / 1天山VJi又た | カット動作時の検出条件を設定。 | 1.5-20 で学院してへたのり | |
| 送り原点の設定 | 作図原点の位置変更時、メディア 送り方向をLEDポインタに合わせ たいときに設定する。 | ON / OFF | |

設定した内容を初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。(設定リセット) 設定リセットはタイプ別に実行できます。

ローカルモードで、(FUNCTION)キー FUNCTION <ENT> セッテイ を押す ENTER キーを押す 2 セッティ : タイフ°1 センタク ▲ ▼ を押して、タイプ (1~4) を選び、 ENTER キーを押す ▲●●を押して、 [1] 4 セッテイ リセット [セッテイリセット]を選ぶ < e n t > ENTER キーを押す 5 [1]セッテイ リセット e n t リセット (ENTER)キーを押す 6 ・設定を初期化します。 終了するとき、ENDコキーを数回押す

マシン設定

本装置を快適に使用するための各種設定です。マシン設定には「マシン設定」と「マシン設定 2」があります。

マシン設定1・2で設定できる内容は、次の項目です。

| | 項 | 8 | 設定值 ^{*1} | 内 容 | | |
|--------|--------------------------|-------------|---------------------------------|--|---|--|
| | ハイキ ファン ^{*2} | テイシ タイマー | 0~ <u>120</u> ~240min/ レンゾク | 作図終了後、排気ファンの回転を停止するまで の時間を設定します。 | | |
| | ファフ | キリカエ | ON / OFF | 現在の排気ファンの動作状態を切り替えます。 | | |
| | カンソウフィ・ | ード | ON / OFF | 作図終了後、メディアを乾燥させるための フィードを行うか設定します。 | | |
| マシ | スタンプセッ | テイ | ON / OFF | 作図終了後に、出力日時・作図条件を出力する 設定を行います。 | | |
| ン設 | ハイインクタ: ワーニング | ンク | ON / OFF | 廃インクタンクの確認メッセージを表示させる か設定します。 | | |
| 定 | テストサクズ | ハイチ | <u>FEED ホウコウ /</u> SCAN ホウコウ | テスト作図を繰り返し実行したときの、テスト パターンの配置方向を設定します。 | | |
| | インク キョウキュウ *3 ユウセン | | <u>ザンリョウ</u> ユウコウキゲン | ダブルカートリッジ自動切替機能で、優先して 使用するカートリッジを設定します。 | | |
| | シツオン | | <u>トウタツヲマタナイ</u> トウタツヲマツ | 室温が使用可能範囲外になっているためにエラーが発生した時の動作を設定します。 (② P.3-34) | | |
| マ | カクニンフィード | | 設定ができます。 | | ON に設定すると、 FUNCTION を押してメディアを元の位置に戻すための「メディアモドシ | |
| シ | ジコクセッテ | 1 | | 現在の日付と時刻を設定します。 | | |
| ン設定 | タンイ | · | | 温度の表示単位を設定します。 | | |
| 定 2 | セッテイ | 長さ | mm / inch | 長さ、面積の表示単位を設定します。 | | |
| | マシン メイショウ | | <u>01</u> ~ 99 | USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称(マシンNo.) を設定します。 | | |
| | キーブザー | | <u>ON</u> / OFF | キーを押したときのブザー音を設定します。 | | |

- *1. お買い上げ時は、下線の設定になっています。
- *2. ハイキファンはオプションです。
- *3. 4色インクセットの場合のみ有効となります。

ハイキファンの設定をする

ファンは作図中は動作し、作図終了後からは"テイシタイマー"の設定に従って動作します。

ハイキファンの設定では、次の2項目の設定ができます。

・テイシタイマー: 作図終了からファン動作を停止するまでの時間を設定します。・キリカエ: "ON"にすれば、作図中でなくてもファン動作を実行できます。

重要!

- 排気ファンは乾燥排気ユニットに含まれるオプション品となります。
- ・乾燥ファンを装着している場合、乾燥ファンの設定はここで設定した内容に連動して動作します。
- **1** ローカルモードで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2 を押して、[マシンセッティ]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ 〈ENT〉

3

ENTER キーを2回押す

- 4
- ▲ を押して、設定する項目を選ぶ

テイシタイマー: 作図終了から排気ファンが停止するまでの時間を設定 キリカエ: ファンを動作させたいときに選ぶ

5

ENTER キーを押す

- 6
- ▲ を押して、設定値を選ぶ

テイシタイマー: $0\sim240$ 秒または連続運転

キリカエ: 動作させるときに "ON" を選び、動作を停止させるとき "OFF" を選ぶ

7

ENTER キーを押す

終了するとき、END キーを数回押します。

カンソウフィードの設定をする

作図完了後、メディアを乾燥させるためのフィードを行うか設定します。



ローカルモードで、「FUNCTION」キー を押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2

▲ を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ 〈ENT〉

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ ハイキ ファン 〈ent〉

4

▲ を押して、[カンソウフィード]を選ぶ

マシン セッテイ カンソウ フィート * 〈 e n t 〉

5

ENTER キーを押す

カンソウ フィート * セッテイ : **0**N

6

▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ

7

ENTER キーを押す

8

終了するとき、ENDキーを数回押す

スタンプの設定をする

作図完了後に、作図条件や作図日時などの情報を出力するか設定します。

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2 全要が 2 を押して、[マシンセッティ]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ 〈ENT〉

3 ENTER キーを押す

マシン セッテイ ハイキ ファン 〈ent〉

4 を押して、[スタンプセッテイ]を選ぶ

マシン セッテイ スタンフ゜ セッテイ 〈ent〉

5 ENTER キーを押す

スタンフ゜ セッテイ スタンフ゜ : **0**F F

6 全要がある を押して、ON/OFF を選ぶ

8 終了するとき、END キーを数回押す

出力の例

TS30-1300 Ver7.00
PRINT MODE : 540×1080 6PASS Uni-D Hi 1LAYER

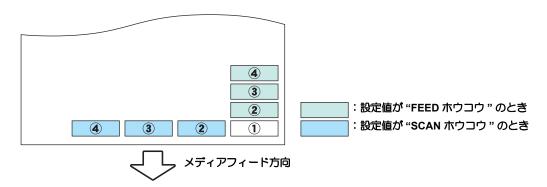
MEDIA COMP. : 100(-100,0,200)

HEAD GAP : Thin

INK : Sb54INK 4color DATE : 16.05.05 17:24:31

テストサクズハイチの設定をする

テスト作図を繰り返し実行するときの、作図されるテストパターンの配置方向を設定できます。



1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2 全変を押して、[マシンセッティ]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ 〈ENT〉

3 ENTER キーを押す

マシン セッテイ ハイキ ファン 〈ent〉

5 ENTER キーを押す

テスト サクス゛ ハイチ セッテイ : **『**EED ホウコウ

FEED ホウコウ:メディアのフィード(奥行き)方向に配置(お買い上げ時の設定) **SCAN ホウコウ**:メディアのスキャン(横)方向に配置

8 終了するとき、END キーを数回押す

シツオンの動作条件を変更する

本機を設置している場所の温度 (室温)が使用可能範囲から外れている状態でプリントをすると、インクの吐出不良や色味が変わるなど、プリント品質に悪影響を及ぼします。 ここでは、プリント時に室温が使用可能範囲から外れていた場合の動作を選択します。



- ・使用可能範囲について、詳しくは P.6-3「使用可能温度」を参照してください。
- プリント開始時に室温が適正範囲外になっていると、以下のエラーメッセージを表示してお知らせします。

**** ERROR 120 ****
カンキョウオント ** ヒクイ

**** ERROR 121 ****
カンキョウオント ** タカイ

* メッセージ内に表示される温度は、装置内部の温度です。実際の室温とは異なりますので、ご注意ください。

1

ローカルモードで、(FUNCTION) キー を押す

FUNCTION セッテイ

<ENT>

2

▲ を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ

<ENT>

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ ハイキ ファン

<ent>

4

▲ ▼ を押して、[シツオン]を 選ぶ

マシン セッテイ シツオン

<ent>

5

ENTER キーを押す

シツオンセンタク

: トウタツ ヲ マタナイ

6

▲●●を押して、設定値を選ぶ

トウタツ ヲ マタナイ: エラーメッセージを一瞬表示した後、プリントを開始する。 トウタツ ヲ マツ : エラーメッセージを表示した後、室温が適正値になるまで

待ってからプリントを行う。

7

ENTER キーを押す

8

終了するとき、ENDコキーを数回押す

カクニンフィードの設定をする

テスト作図後に、作図結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。

1

ローカルモードで、「FUNCTION」キー を押す

FUNCTION セッテイ

<ENT>

2

▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ2]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ2

<ENT>

3

ENTER キーを2回押す

カクニン フィート゛ セッテイ

: **0**N

4

▲ ▼ を押して、ON を選ぶ

• [OFF] を選んだ場合は、手順7へ進んでください。

5

[メディアモドシフィード]の設定を するとき、FUNCTION キーを押す

カクニン フィート * メテ * ィア モト * シ フィート * : **O**N

6

▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ

カクニン フィート゛ メテ゛ィア モト゛シ フィート゛: **O**FF

- メディア戻しフィードを ON にすると、確認 フィードでフィードしたメディアを少し戻 します。
- メディアを戻したくないときは、OFF に設定してください。

7

ENTER)キーを押す

マシン セッテイ2 カクニン フィート゛

< e n t >

8

終了するとき、ENDコキーを数回押す

ジコクの設定をする

1 ローカルモードで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION セッテイ

<ENT>

2

▲ を押して、[マシンセッテイ2]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ2

<ENT>

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ2 カクニン フィート **

< e n t >

4

▲ を押して、[ジコクセッテイ]を選ぶ

マシン セッテイ2 シ゛コク セッテイ

< e n t >

5

ENTER キーを2回押す

シ゛コ<u>ク</u> セッテイ_

2016.10.05 15:30:00

6

▲●●●を押して、時刻を入力する

7

ENTER)キーを押す

入力した時刻が表示されます。

シ゛コクセッテイ

2016.10.05 15:30:00

8

終了するとき、ENDキーを数回押す

(重要!)

- 過去の時刻設定は、現在の表示時刻より 8 時間前の時刻までしか設定できません。
- ・ 誤って、現在の時刻より未来の時刻を設定した場合、手順 7 で次の操作をすると、 前回設定した時刻に戻すことができます。
 - (1) 手順7で(FUNCTION) キーを押す(入力した時刻と前回設定した時刻が表示される)
 - (2) ENTER キーを押す

変更内容を戻せるのは、一つ前の変更までです。また、変更前の時刻は、経過した時間分進んでいます。

タンイの設定をする

本装置で使用する単位を設定します。

1

ローカルモードで、FUNCTION キー を押す

FUNCTION セッテイ

<ENT>

2

▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ2]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ2

< ENT>

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ2 カクニン フィート **

< e n t >

4

▲ ▼ を押して、
[タンイセッテイ]を選ぶ

マシン セッテイ2 タンイ セッテイ

< e n t >

5

ENTER キーを押す

オント゛ ゚**ℂ** ナカ゛サ m<mark>m</mark>

6

▲●●●を押して、単位を選ぶ

7

ENTER キーを押す

マシン セッテイ2 タンイ セッテイ

< e n t >

8

終了するとき、ENDキーを数回押す

マシンメイショウの設定をする

USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシン№.) を設定します。

1

ローカルモードで、「FUNCTION」キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

2

▲ を押して、[マシンセッテイ 2]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ2 〈ENT〉

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ2 カクニン フィート * 〈 e n t 〉

4

▲ を押して、
「マシンメイショウ」を選ぶ

マシン セッテイ2 マシン メイショウ 〈ent〉

5

ENTER キーを押す

マシン メイショウ JV33-0<mark>1</mark> 〈ent〉

6

▲ ▼ を押して、 マシン名称 (01~99) を選ぶ

マシン メイショウ TS30-1**0** <ent>

7

ENTER キーを押す

マシン セッテイ2 マシン メイショウ 〈 e n t 〉

8

終了するとき、ENDキーを数回押す

キーブザーの設定をする

キーを押したときのブザー音を設定します。

1

ローカルモードで、FUNCTION キー を押す

FUNCTION セッテイ

<ENT>

2

▲ ▼ を押して、[マシンセッテ イ 2] を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ2

< ENT >

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ2 カクニン フィート゛

< e n t >

4

▲ ▼ を押して、[キーブザー] を選ぶ

マシン セッテイ2 キー フ゛サ゛ー

< e n t >

5

ENTER キーを押す

キー フ゛サ゛ー セッテイ

: **0**N

6

▲ ▼を押して、ON/OFFを

選ぶ

キー フ゛サ゛ー セッテイ

: **0** F F

7

ENTER キーを押す

マシン セッテイ2 キー フ゛サ゛ー

<ent>

8

終了するとき、ENDキーを数回押す



• 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

インクの有効期限を延長する

通常は期限切れ後2ヶ月で使用不可となるインクの有効期限を、期限切れの月から6ヶ月延長できます。

インクの有効期限を延長する

以下の設定・確認画面は、本機の電源を ON にしたときや、期限切れのインクカートリッジをセットしたときに表示されます。

重要!

- 一度延長 [YES] を設定したカートリッジは、設定の変更ができません。
- 複数の期限切れインクをセットしてから、期限延長を設定すると、複数のインクの有効期限をまとめて延長できます。
- インクの有効期限を延長して使用すると、印刷画質が低下したり、色味の変化 やバンディングなど印字品質が低下する可能性があります。このことをご了解 の上、インクの有効期限を延長してください。
- 初期充填では、期限切れ後2ヶ月以上が過ぎたインクを使用することはできません。



右の画面を表示したら

ユウコウキケ゛ン エンチョウ ? YES< >NO

交互に表示(



2

◆ を押して、[YES] を選ぶ

• インク期限の延長をしないときは、[NO] を選んでください。この場合、インク期限が切れてから2ヶ月すると、インクが使用できなくなります。

ユウコウキケ゛ン ヲ エンチョウシタ [ENT] ヲ オス

3

ENTER キーを押す

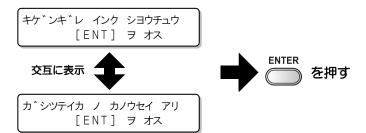
• インク期限が延長されます。



- インクの有効期限を延長した場合、インク期限切れから6ヶ月が経過するとディスプレイに[カンゼン キゲンギレ]が表示され、セットしているインクカートリッジは使用できなくなります。速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。
- 有効期限を延長したインクカートリッジからインクを供給しているときは、インクカートリッジの上にあるカートリッジランプが緑色に点滅してお知らせします。

インクの有効期限を延長したカートリッジをセットすると

本機にインクの有効期限を延長したカートリッジをセットしている状態で電源をオンにしたときや、有効期限の延長を設定したカートリッジを本機にセットすると、次の画面を表示します。





• 上の画面を交互表示しているときに FUNCTION キーを押すと、期限切れになっているインクの確認ができます。

インクの有効期限を延長したときは

(例) 2016年2月が有効期限のインクカートリッジをお使いの場合

• 期限延長をしなかった場合

| 2月 | 3月 | 4月 | 5月~ | |
|---------|------------|-------------|---|--|
| 連続印刷 可能 | 連続印刷 可能 | 連続印刷 不可能 | 印刷不可能(使用不可) | |
| | 1 | 1 | → ディスプレイに"キゲンギレ(2 カゲツ)"または"カンゼンキゲンギ レ"を表示し、カートリッジランプが赤色点灯 | |
| | | | スプレイに " キゲンギレ(1 カゲツ)" を表示し、 | |

ディスプレイに " インクキゲンギレ " を表示

• 期限延長を実行した場合 (🛕 で期限延長実行)

| ・ 知味進長を実110に場合 (人 に に に に に に に に に に に に に に に に に に | | | | | | | |
|--|------------|------------|---|-----------------|--------|--|-----------------|
| 2月 | 3月 | 4月 | | 5月~ | | | 9月 |
| 連続印刷 可能 | 連続印刷 可能 | 連続印 刷不可 | 連 | 続印刷可能 | | | 印刷不可能 (使用不可) |
| | | | | | | | |
| 連続印刷 可能 | 連続印刷 可能 | 連続印 不可能 | | 印刷不可能 (使用不可) | 連続印刷可能 | | 印刷不可能 (使用不可) |
| ^ | | | | | | | |
| ディスプレイに " カンゼンキゲンギレ " を表示 | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4月~8月のいずれのタイミングで期限延長しても、 延長される期間は有効期限から6か月です。

インク供給経路の切替設定

インク供給について、ダブルカートリッジ自動切替機能で優先して使用するカートリッジの状態を選択できます。

本設定は、4色インクセットをお使いの場合のみ有効です。

重要!)

- ここでの設定に関わらず、有効期限が切れたインクカートリッジがセットされている場合は、期限切れのカートリッジを優先して使用します。
- オプションのバルクインクシステム (MBIS) をお使いの場合、両方のスロットでバルクインクシステム (MBIS) をセットしていれば、ここで行う設定が有効になります。
- 同色の供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS) が混在している場合は、次ページの設定をご参照ください。
- 1

ローカルモードで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION セッテイ

< ENT >

2

▲ を押して、
[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ

<ENT>

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ ハイキ ファン

< e n t >

4

▲ を押して、
「インク キョウキュウ ユウセン] を選ぶ

マシン セッテイ インク キョウキュウ ユウセン〈ent〉

5

ENTER キーを押す

6

▲ を押して、
優先するカートリッジの状態を選ぶ

インク キョウキュウ ユウセン センタク : サ゛ンリョウ

ザンリョウ: 残量が少ないインクカートリッジから供給する **ユウコウキゲン**: 有効期限が短いインクカートリッジから供給する

7

ENTER キーを押す

8

終了するとき、《END》キーを数回押す

インクカートリッジと MBIS を混在している場合

4 色インクセットで、同色の供給経路にインクカートリッジとオプションのバルクインクシステム (MBIS) を混在して使用している場合、優先して使用するインクを選択できます。



• 通常、同色のインク供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS) を混在して使用する場合、バルクインクシステム (MBIS) 側のインクを優先して使用します。

(重要!)

- 本機能は4色インクセットをお使いの場合のみ有効です。
- インクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS) が混在している供給経路がない場合は、本機能は設定できません。
- 本機能で選択しているカートリッジを引き抜くか電源を入れ直すと設定は無効となります。
- ローカルまたはリモートモードで、 ENTER キーを押す

 SbXX
 MMBBYYKK

 サ*ンリョウ
 34567899

2]

(REMOTE) キーを押す

BULK/CART センタク
- CBBB

現在、供給している側を表示 B:パルクインクシステム (MBIS)

C : インクカートリッジ ー : 混在していない

3 と、どちらを優先するか設定する

BULK/CART センタク - C B B

経路の選択 : **◆ ●** で選ぶ **優先する側を設定** : **◆ ▼** で入力

4

ENTER キーを押す

ローカルまたはリモートモードに戻ります。

装置情報を確認する

本装置の装置情報を確認できます。確認できる装置情報は、次の項目です。

| 項目 | 内 容 |
|---------------|--|
| エラー履歴 | 現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。 ② を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。 |
| メンテナンス履歴 | メンテナンス機能を、いつ使ったかの履歴を表示します。 主に、マニュアルによる洗浄機能や、自動(定期、スリープ)での洗 浄機能について表示します。 |
| 作図モード履歴 | 電源 ON から現在までに行ったオンライン作図情報(作図条件)を表示します。(最大 50 件) ▲ ▼ を押して作図した順番に切り替えて表示します。 |
| リスト | 装置の設定内容を作図します。 |
| インクコウカンレポート | 装置で使用したインクの履歴をプリントします。 |
| バージョン | 装置のバージョン情報を表示します。 |
| シリアル&ディーラーNo. | シリアル No.、ディーラー No. を表示します。 |

情報を表示させる

- 1
- ローカルモードで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION セッテイ 〈ENT〉

- 本装置の設定リストを作図したい場合は、メディアをセットしてください。 (② P.2-6)
- 2
- ▲ ▼ を押して、[ジョウホウ] を選ぶ

FUNCTION シ゛ョウホウ 〈ENT〉

3

ENTER キーを押す

シ゛ョウホウ エラー リレキ 〈ent〉

4

▲ ▼ を押して、情報の種類を選ぶ



ENTER キーを押す

- ・情報を表示します。
- [リスト]を選んだ場合、装置の設定内容が作図されます。

表示される情報について

表示させた情報の見方を説明します。

| エラー履歴 | | メンテナンス履 | 歴 |
|------------------|--|------------------------------|----------------------------------|
| 発生年月日を 表示 | エラー リレキ [01] 16.10.10 12:15 | メンテナンス 内容を表示 | [01] 16.10.10 12:15 キャリッシ゛アウト |
| | | バージョン | |
| エラー内容を 表示 | ***** ERROR 09 ***** HDC 177- | F/W などの バージョン 情報を表示 | TS30-1300 V7.00 MRL-III V1.20 |
| 作図モード履歴 | | シリアル&ディ | ーラーNo. |
| | | _ | |
| 解像度や作図長 などを表示 | [01] 720x1080 .12 Bd.Vd.x1.1L: 12.34m | シリアル№. ディーラー№. を表示 | S/N = ******* D/N = ****** |
| | | ディーラーNo. | 1 2 |

第4章 日常のお手入れ



この章では ...

インクの交換方法やクリーニングなど、本装置を快適にお使いいただ くために必要な項目を説明します。

| 日常のお手入れ4-2 | 電源オフ時のインク詰まりを |
|---------------------|-----------------------|
| お手入れ上のご注意4-2 | 防止する4-25 |
| メンテナンス洗浄液について4-2 | スリープ中のリフレッシュ間隔を |
| 外装のお手入れ4-3 | 設定する 4-25 |
| プラテンの清掃4-3 | スリープ中のクリーニング間隔を |
| メディアセンサーの清掃4-4 | 設定する 4-26 |
| メディア押えの清掃4-4 | 定期動作を設定する4-27 |
| キャッピングステーションのメンテ | 作図中の定期ワイピングの動作を |
| ナンス 4-5 | 設定する 4-27 |
| ワイパーとキャップの清掃4-6 | 待機中のリフレッシュ間隔を |
| ワイパーを交換する4-8 | 設定する 4-29 |
| ヘッドノズルの洗浄4-10 | 待機中のクリーニング間隔を |
| インク排出路の洗浄 | 設定する 4-30 |
| (PUMP チューブ洗浄)4-12 | その他のメンテナンス機能4-32 |
| 長期間使用しない場合 | ワイパー交換の警告時期を変更する 4-32 |
| (ホカンセンジョウ)4-14 | メディア残量表示の設定をする 4-33 |
| ヘッド周辺の清掃 4-16 | 昇華転写インクをより安定した品質で |
| ノズル詰まりが復旧しない場合 4-18 | 使うために4-35 |
| インクを充填する4-18 | 廃インクタンク確認メッセージが |
| ハイシュツ&センジョウ4-19 | 表示されたら 4-39 |
| インクの初期充填を行う4-21 | インクセットを変更したいとき 4-43 |
| ドットの位置がずれたら 4-23 | カッター刃の交換4-44 |

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本装置のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。



メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。



・本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。



本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および 破損する原因になります。



- 本装置はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用(出力)されないときには、定期的に微量のインクを吐出(フラッシング)させる必要があります。
- 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、背面の主電源スイッチは ON(| の状態) およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。



- ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。
- ・ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタ機構が故障する恐れがあります。
- メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。 カバーの表面が変質、変形します。

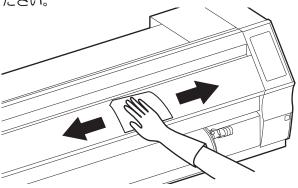
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

| インクの種類 | 対応するメンテナンス洗浄液 |
|---------|--|
| 昇華転写インク | 洗浄液ボトルキット A29(SPC-0137)[別売] 水性洗浄液カートリッジ(SPC-0259)[別売] |

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

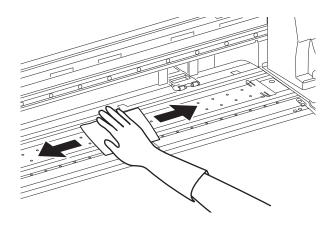


プラテンの清掃

プラテン上は、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。 汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。



インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、 拭き取ります。



重要!)

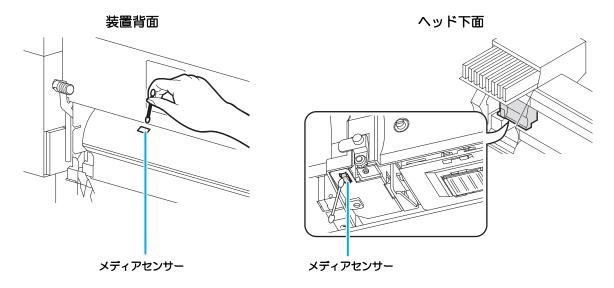
- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。
- メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝(カッターライン)などは特に汚れが たまりやすい場所です。入念な清掃をお願いします。

メディアセンサーの清掃

メディアセンサーは、背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。

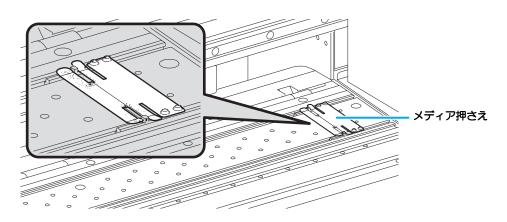
綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.4-16「ヘッド周辺の清掃」手順 1 の操作をして、キャリッジを左端に移動させてから清掃してください。



メディア押えの清掃

メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、作図時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常な作図ができなくなることがあります。 メディア押さえは、定期的に清掃してください。



キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。 (ステーションメンテナンス)

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

ワイパー: ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る

• インクキャップ: ヘッドのノズルが乾燥により、 目詰まりするのを防止する

本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。 ヘッドクリーニングを実行 (愛 P.2-17) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

| | • 洗浄液ボトルキット A29(品番 : SPC-0137) | | | | |
|-------|---|---|-------|--|--|
| 必要な道具 | ・クリーンスティック・手 | 袋 | ・ゴーグル | | |



- キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、(ST.MAINTE) キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。((会) P.4-6 手順 1 ~ 2)

ワイパーとキャップの清掃

画質や本装置の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

重要!)

- ワイパーの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。 (公子 P.4-8)
- 清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

1

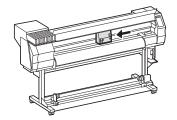
ローカルモードで、 (ST.MAINTE) キーを押す

ステーション メンテナンス キャリッシ゛ アウト 〈 e n t 〉

2

ENTER キーを押す

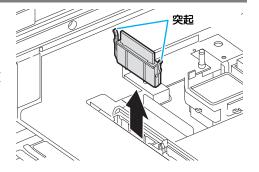
キャリッジがプラテン上に移動します。



3

フロントカバーを開けて、 ワイパーを取り出す

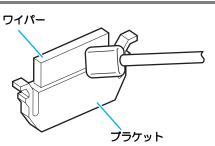
ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



4

ワイパーとブラケットを清掃す る

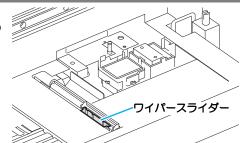
ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



5

ワイパースライダーを清掃する

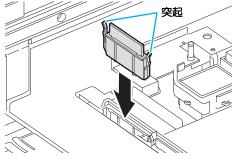
ワイパースライダーに付着したイン クを、メンテナンス洗浄液を含ませ たクリーンスティックで拭き取ります。



6

ワイパーを元の位置に戻す

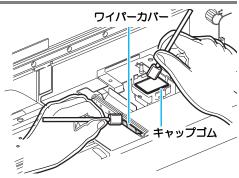
ワイパーの両端を持って差し込みます。



7

キャップゴムやワイパーカバー を清掃する

キャップゴムやワイパーカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



8

初期動作後、ローカルモードに戻ります。

(カハ゛ー オーフ゜ン) 〈ENT〉ヲ オシテクタ゛サイ



* ショキカ チュウ * シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

(ST.MAINTE) を使わないでステーションメンテナンスをするには

(ST.MAINTE) キーを押さなくても、ローカルモードから(FUNCTION) キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルモードで FUNCTION を押す ▲ ▼ を押し て[メンテナンス] を選ぶ

ENTER を2回押す

ローカルモードから ST.MAINTE を押したときと同じ状態になります。

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、 速やかにワイパーを交換してください。 また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてくだ さい。

< ローカル、1 > [#01] ワイハ°ー コウカン <MNT >

重要!

- クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- ワイパー交換時以外は、[ワイパーコウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパー使用回数がリセットしてしまいます。

1

ローカルモードで、 (ST.MAINTE) キーを押す

ステーション メンテナンス キャリッシ゛ アウト 〈 e n t 〉

2

▲ ▼ を押して、 [ワイパーコウカン]を選ぶ

ステーション メンテナンス ワイハ゜ー コウカン 〈 e n t 〉

3

ENTER キーを押す

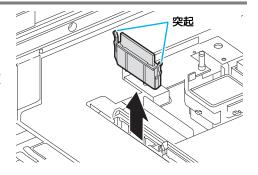
キャリッジがプラテン上に移動します。

ステーション メンテナンス シュウリョウ : e n t

4

フロントカバーを開けて、 ワイパーを取り出す

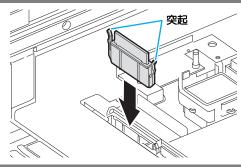
ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



5

新しいワイパーを差し込む

ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。





フロントカバーを閉じ、 ENTER キーを押す

• 初期動作後、ローカルモードに戻ります。

(カハ゛ー オーフ°ン)〈ENT〉ヲ オシテクタ゛サイ



* ショキカ チュウ * シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前に確認 してください

[二アエンド]、[インクエンド]は表示していませんか?

- 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。 このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、 洗浄動作が行えなくなります。
- インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。

1

ローカルモードで、(ST.MAINTE) キーを押す

ステーション メンテナンス キャリッシ゛ アウト 〈 e n t 〉

2

▲ ▼ を押して、 [ノズルセンジョウ]を選ぶ

ステーション メンテナンス ノス゛ル センシ゛ョウ 〈 e n t 〉

3

ENTER キーを押す

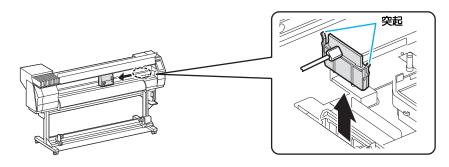
キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイハ゜ー クリーニンク゛ シュウリョウ(ッキ゛へ) : e n t

4

ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (SPC-0137)
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5

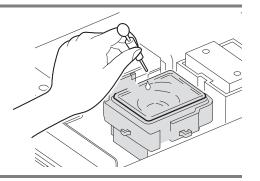
ENTER キーを押す

センシ゛ョウエキ ヲ ミタス シュウリョウ(ツキ゛へ) : ent



スポイトにメンテナンス洗浄液 をとり、キャップー杯になるま で満たす

キャップからあふれる寸前まで洗浄 液を満たしてください。



7

ステーション メンテナンス ホウチ シ゛カン

: 11 min

8

▲ ▼ を押して、洗浄液の放置 時間を設定する

• 設定値: 1~99分(1分単位)

: 2 min

9

ENTER キーを押す

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 手順8で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、ローカルモードに戻ります。

* ショキカ チュウ * シハ゛ラク オマチクタ゛サイ



<ローカル:1>

重要!

- この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、「ノズル詰まりが復旧しない場合」(②アP.4-18)と「ハイシュツ&センジョウ」(②アP.4-19)を実行してください。それでも解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡(サービスコール)ください。
- 本装置にメンテナンス洗浄液が充填されていない場合は次のようにしてください。
 - (1) 手順 5 までの操作をする
 - (2) スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
 - (3) 手順7からの操作をする

インク排出路の洗浄 (PUMP チューブ洗浄)

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。



・ 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-39 「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

 ハイインクタンク ヲ カクニン コウカン : ent

1

ローカルモードで、(ST.MAINTE) キーを押す

2

▲ ▼ を押して、[PUMP チューブセンジョウ] を選ぶ

ステーション メンテナンス PUMPチューフ゛センシ゛ョウ〈ent〉

3

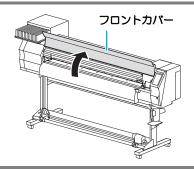
ENTER キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。
- ・空吸引動作(吸引を5秒、停止を10秒)を 洗浄の作業が終わるまで繰り返し行いま す。

ステーション メンテナンス シュウリョウ : e n t

4

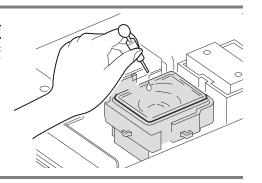
フロントカバーを開ける





スポイトにメンテナンス洗浄液 をとり、キャップー杯になるま で満たす

キャップからあふれる寸前まで洗浄 液を満たしてください。





• 30 秒間空吸引を実行した後、ローカルモードに戻ります。

* ショキカ チュウ * シハ゛ラク オマチクタ゛サイ



〈ローカル: 1 〉

(重要!)

- 本装置にメンテナンス洗浄液が充填されていない場合は次のようにしてください。
 - (1) 手順 4 までの操作をする
 - (2) スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
 - (3) 手順6の操作をする

長期間使用しない場合(ホカンセンジョウ)

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。

事前に確認 してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか?

- 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。 このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、 洗浄動作が行えなくなります。
- インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。



• 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-39 「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

ハイインクタンク ヲ カクニン ケイソ゛ク< > コウカン *ハイインクタンク ヲ カクニン* コウカン : ent

1

ローカルモードで、(ST.MAINTE) キー を押す

ステーション メンテナンス キャリッシ゛ アウト 〈 e n t 〉

2

▲ を押して、[ホカンセンジョウ]を選ぶ

ステーション メンテナンス ホカン センシ゛ョウ 〈 e n t 〉

3

ENTER)キーを押す

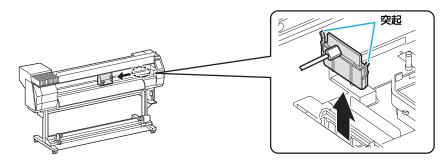
キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイハ°ー クリーニンク゛ シュウリョウ(ツキ゛へ) : e n t

4

ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (SPC-0137)
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



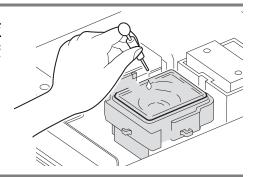
ENTER キーを押す

センシ * ョウエキ ヲ ミタス シュウリョウ(ツキ * へ) : e n t

6

スポイトにメンテナンス洗浄液 をとり、キャップー杯になるま で満たす

キャップからあふれる寸前まで洗浄 液を満たしてください。



7

フロントカバーを閉め、 《ENTER》キーを押す

ステーション メンテナンス ホウチ シ゛カン

1min

8

▲ ▼ を押して、洗浄液の放置 時間を設定する

• 設定値: 1~99分(1分単位)

ステーション メンテナンス ホウチ シ゛カン : 2

: **2**min

9

ENTER キーを押す

* ショキカ チュウ * シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

10

フロントカバーを開ける

11

(FUNCTION) キーを押し、メンテナンス洗浄液をキャップ一杯になるまで満たす

- FUNCTION キーを押すと、キャップに洗浄液が点滴されます。
- 再度、FUNCTION キーを押すと、点滴は止まります。
- 空吸引が停止している間に点滴を数回繰り返し、キャップから溢れる寸前まで洗 浄液を満たしてください。

12

初期動作後、ローカルモードに戻ります。

* ショキカ チュウ * シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な 注意が必要です。

スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますの で、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対 にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具 |・クリーンスティック |・手袋

・ゴーグル



清掃を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。 インクが目に入る場合があります。

メンテナンスメニューの[キャリッジメンテナンス]を選ぶ

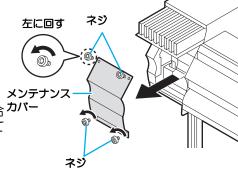
- (1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
- (2) ▲ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) ▲ ▼ を押して [キャリッジメンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (4) **ENTER** キーを押す
 - キャリッジが、本装置の左端まで移動します。

メンテナンスカバーを外す

(1) メンテナンスカバーを止めている 4 つのネジを左に回して取り除く

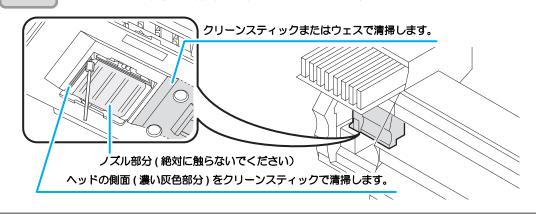
(2) メンテナンスカバーを外す

メンテナンスカバーが開けづらい場合カバー は、付属のドライバーを使って開けて ください。



ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



清掃が終了したら、(ENTER)キーを 押す

カハ゛―ヲ シメテクタ゛サイ

5

メンテナンスカバーを閉じ、 ENTER キーを押す

• 初期動作後、ローカルモードに戻ります。

(カハ゛ー オーフ°ン) 〈ENT〉ヲ オシテクタ゛サイ



* ショキカ チュウ * シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (© P.2-17) やヘッドノズルの洗浄 (© P.4-10) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の 2 機能を実行してください。

| インクジュウテン | ・インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。 | |
|-------------|---|--|
| ハイシュツ&センジョウ | ・専用の洗浄液 (別売)でヘッド、チューブ、ダンパーを洗浄します。(② P.4-19) | |

インクを充填する

1

メンテナンスメニューの[ヘッドメンテナンス]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、(FUNCTION)キーを押す
- (2) (A) (▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す
- (3) (本) を押して[ヘッドメンテナンス]を選ぶ
- **(4) ENTER** キーを押す

2

ENTER キーを押す

- 自動的にインク充填を開始します。
- インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

インク シ゛ュウテン チュウ 00:00



ヘット゛ メンテナンス インク シ゛ュウテン

< e n t >

3

ハイシュツ&センジョウ

ヘッド、ダンパー、チューブのインクを排出して、洗浄を実行します。



- この機能をお使いになるには、専用の洗浄液 (P.4-2「メンテナンス洗浄液について」) が必要です。また、再充填するためのインクが残っているか確認してから作業を行ってください。
- ・ 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-39 「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

ハイインクタンク ヲ カクニン ケイソ゛ク< > コウカン *ハイインクタンク ヲ カクニン* コウカン : ent

1

メンテナンスメニューの[ヘッドメンテナンス]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、(FUNCTION)キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) (▲) (▼) を押して [ヘッドメンテナンス] を選ぶ
- (4) (ENTER) キーを押す

2

▲ を押して、 [ハイシュツ&センジョウ]を選ぶ

メンテナンス ハイシュツ&センシ゛ョウ 〈 e n t 〉

3

ENTER キーを押す

インク カートリッシ゛ ヲ ハス゛ス MMBB YYKK

4

インクカートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残ったインクが廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

* ハイシュツ チュウ * 00:00



センシ゛ョウ エキ ヲ セット スル 1234 5678

5

インクステーションに洗浄液カー トリッジをセットする

- 洗浄液の吸引を始めます。
- 吸引が終わると、右の画面を表示します。

* キュウイン チュウ * 00:00



センシ゛ョウ エキ ヲ ハス゛ス 1234 5678

洗浄液カートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残った洗浄液が廃インクタンクに排出されます。
- ・排出が終わると、右の画面を表示します。

* ハイシュツ チュウ * 00:00



センシ゛ョウ エキ ヲ セット スル 1234 5678

7

インクステーションに洗浄液カー トリッジをセットする

- ・ 洗浄液の吸引を始めます。
- ・ 吸引が終わると、右の画面を表示します。

* キュウイン チュウ * 00:00



センシ゛ョウ エキ ヲ ハス゛ス 1234 5678

8

洗浄液カートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残った洗浄液が廃イン クタンクに排出されます。
- ・排出が終わると、右の画面を表示します。

* ハイシュツ チュウ * 00:00



シ゛ョウキョウニ オウシ゛テ センタク END < > サイセンシ゛ョウ

- ・廃インクタンクの状態を確認して、洗浄を終了するか、再洗浄するかを選んでください。
- 再洗浄する場合は を押して、手順5に戻ります。

9

●を押す

10

インクの初期充填を行う

[ハイシュツ&センジョウ]のあと、次の操作をしてインクの初期充填を行ってください。



本装置の電源をオンにする

電源をオンにすると [BOOT] を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

BOOT

TS30-1300

V*.**

シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

2

▲ を押して、充填するインクタイプを選択する

インクタイフ゜

Sb

REMOTE キーを押すと、カートリッジの状態が確認できます。(② P.5-5)

3

▲ を押して、充填するインクセット(充填色)を 選択する

- お客様の操作で、現在お使いのインクセットから他のインクセットへ変更することはできません。
- Sb インクセット 4-Color(MMBBYYKK)
- インクセットの変更は、弊社営業所へお申し付けください。

4

ENTER キーを押す

Sb-4Colorインク ヲ セット

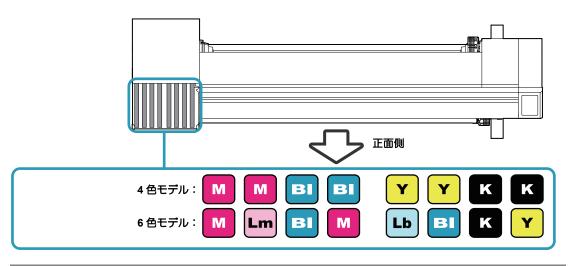
インクステーションにインクカー トリッジセットする

Sb-4Colorインク ヲ セット --B- Y-KK

インクカートリッジをセットすると、自動 的に充填が始まる。

シ゛ュウテン チュウ 00:00

インクステーションには、それぞれ差し込むインク色が決まっています。インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。





インク充填が終了すると、ローカ ルモードに戻る

〈ローカル. 1〉 [#01] ハハ゛: ****mm



• 初期充填後に作図したとき、カスレやヌケがある場合は、ヘッドクリーニング (公子 P.2-17) またはインク充填 (公子 P.4-18) をしてください。

手順5でインクの充填ができないとき

インクニアエンドやインクエンド、その他各種インクエラーが発生している場合は、インクの充填を開始しなくなります。

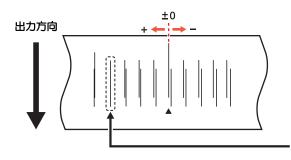
手順5でインクの充填が始まらない場合

- (1) **END** キーを押すと、手順2の画面に戻る
- (2) (REMOTE) キーを押して、インクカートリッジの状況を確認する
- (3) インクエラーなどを解消し(公P.5-5)、手順2から操作し直す

ドットの位置がずれたら

ご使用になるメディアの厚みやヘッドの高さ、インクの種類が変わったときは、次の操作をして双方向(Bi)作図時のインクの落下位置を補正し、適正な作図結果を得られるようにしてください。

パターン作図例



プラス方向に 0 位置から 4 本目が、直線で表示 されています。

この場合のドット位置補正値は 4.0 です。

1

メディアをセットし、作図原点を設定する (CGP P.2-6)

- パターン作図をするには、幅 500mm× 送り 400mm 以上の大きさのメディアが 必要です。
- 2

メンテナンスメニューの[ドットイチホセイ]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) ▲ ▼ を押して [ドットイチホセイ] を選ぶ
- **(4) ENTER** キーを押す
- 3

(ENTER) キーを押して、パターン作図を開始する

サクス゛ チュウ シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

- ・ 複数のテストパターンを作図します。(作図順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)
- 4

▲ ▼ を押して、パターン1の ドット位置を補正する

ト * ット イチ ホセイ ハ ° ターン1 = **0**.0

- 補正値:-40~40
- テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が-40~40の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順2から操作をし直してください。

5

ENTER)キーを押す



手順 4 と同様にして、パターン 2~ のドット位置を補正し、 ENTER キーを押す

7

電源オフ時のインク詰まりを防止する

電源スイッチをオフにしても、定期的に装置が起動して、インク詰まりを防止するための各種動作を行います (スリープ設定)。スリープ設定には、以下の項目があります。

| 機能名 | 説明 |
|--------|-----------------------------|
| リフレッシュ | リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。 |
| クリーニング | クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。 |

(重要!)

- 右のメッセージが表示されている場合、スリープ設定で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-40 の操作をしてください。
- 装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、 廃インクタンクの確認をしてください。

〈ローカル. 1〉 [#01] ハイインク タンク カクニン 〈MNT〉

スリープ中のリフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1

メンテナンスメニューの[スリープセッテイ]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、(FUNCTION)キーを押す
- (2) (▲) (▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す
- (3) (本) を押して[スリープセッテイ]を選ぶ

2

ENTER)キーを押す

3

ENTER キーを押す

スリーフ゜ セッテイ リフレッシュ カンカク = **1**h

4

▲ を押して、 リフレッシュ間隔を設定する

• 設定値: OFF,1 ~ 168 時間

スリーフ゜ セッテイ リフレッシュ カンカク = 1**0**h

5

ENTER キーを押す

・終了するとき、END キーを数回押します。

スリーフ゜ セッテイ リフレッシュ 〈 e n t 〉

スリープ中のクリーニング間隔を設定する

メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。 スリープ中のクリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1

メンテナンスメニューの[スリープセッテイ]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、(FUNCTION)キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) (▲) (▼) を押して[スリープセッテイ]を選ぶ
- **(4) ENTER** キーを押す

2

▲ を押して、 [クリーニング]を選ぶ

スリーフ[°] セッテイ クリーニンク ^{*}

< e n t >

3

ENTER キーを押す

スリーフ゜ セッテイ クリーニンク゛ カンカク

= **1**h

4

▲ ▼ を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

スリーフ゜ セッテイ クリーニンク゛ カンカク

= **4** h

• 設定値: OFF,1 ~ 168 時間

5

(FUNCTION) キーを押す

クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

スリーフ[®] セッテイ クリーニンク[®] タイフ[®]

ノーマル

6

▲ を押して、 クリーニングタイプを選ぶ

• 設定値: ノーマル、ソフト、ハード

スリーフ[°] セッテイ クリーニンク[°] タイフ[°]

ソフト

T ENTER キーを押す

スリーフ゜ セッテイ クリーニンク゛ カンカク

= 4 h

8

定期動作を設定する

電源がオンの状態で定期的な各種動作を実施することで、インク詰まりなどのトラブルを防止 します (定期設定)。定期設定には、以下の項目があります。

| 機能名 | 説明 |
|----------|--|
| テイキワイピング | 作図中、一定間隔でノズル面をワイピングし結露を取り除きます。 [スキャンカイスウ]と[オンドサ]の設定ができます。 |
| リフレッシュ | 待機中のリフレッシュ動作を実行するまでの間隔を設定します。 |
| クリーニング | 待機中のクリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。 |

(重要!)

右のメッセージが表示されている場合、[テイキワイピング]を除き、定期設定で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-40 の操作をしてください。

 くローカル. 1 >
 [#01]

 ハイインク タンク カクニン <MNT >

装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

作図中の定期ワイピングの動作を設定する

作図中に設定したスキャン回数になったら、自動的にワイピング動作を行うことにより、ノズル面でインクが結露するのを防止できます。

次のような場合は、作図途中でしぶき・ボタ落ち・ノズル抜けが発生する場合があります。 定期ワイピングの設定をして、常に快適な作図状態を維持することをお勧めします。

・ 打ち込みインク量を多め(高濃度、2度塗り等)に設定している

1

メンテナンスメニューの[テイキセッテイ]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
- (2) **(2) (2)** を押して [メンテナンス] を選び、 **(ENTER)** キーを押す
- (3) (3) ▼ を押して [テイキセッテイ] を選ぶ
- 2

ENTER キーを押す

テイキ セッテイ テイキ ワイヒ°ンク゛ 〈ent〉

3

ENTER キーを押す

テイキ ワイヒ°ンク゛ スキャン カイスウ 〈ent〉

4

ENTER キーを押す

テイキ ワイヒ゜ンク゛ スキャン カイスウ = **5**0

▲ ▼ を押して、スキャン回数 を設定する

テイキ ワイヒ°ンク゛ スキャン カイスウ = **4**0

- 設定値: 0 ~ 9990 回
- 2 度塗り等打ち込みインク量が多い場合は、30~50回が目安です。

6

ENTER キーを押す

テイキ ワイヒ[°]ンク [°] スキャン カイスウ

< e n t >

7

▲●●を押す

・オンドサの設定画面が表示されます。

テイキ ワイヒ°ンク゛ オント゛サ 〈ent〉

8

ENTER)キーを押す

テイキ ワイヒ°ンク゛ オント゛サ

= 2**0**°C

9

▲ を押して、温度差を設定する

テイキ ワイヒ°ンク゛ オント゛サ

= 2**0**°C

10

ENTER キーを押す

テイキ ワイヒ°ンク゛ オント゛サ

<ent>

11

日常のお手入れ

待機中のリフレッシュ間隔を設定する

リフレッシュ動作を実行するまでの間隔を設定します。



メンテナンスメニューの[テイキセッテイ]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、(FUNCTION)キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) (本) を押して[テイキセッテイ]を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す
- 2
- ▲ を押して、[リフレッシュ] を選ぶ

テイキ セッテイ リフレッシュ 〈 e n t 〉

3

ENTER キーを押す

テイキ セッテイ リフレッシュ カンカク = **1**h

4

● ● を押して、リフレッシュ 動作を行う間隔を設定する

テイキ セッテイ リフレッシュ カンカク = 1**0**h

• 設定値: OFF,1~168 時間

5

ENTER)キーを押す

スリーフ゜ セッテイ リフレッシュ 〈 e n t 〉

6

待機中のクリーニング間隔を設定する

メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。 待機中のクリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

(重要!)

- •「二アエンド」「インクエンド」等、インクに関係するエラーが発生している場合 は、動作しません。
- 動作中は「ヘッドクリーニング」動作と同じ進行状況を示す表示となり、キー操作はできません。(公子 P.2-17 「ヘッドクリーニングを実行する」)
- 本機能は、以下の表示のまま放置されているときのみ動作します。



1

メンテナンスメニューの[テイキセッテイ]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) ▲ ▼ を押して [テイキセッテイ] を選ぶ
- **(4) ENTER** キーを押す
- 2

▲ を押して、[クリーニング]を選ぶ

テイキ セッテイ クリーニンク゛ 〈ent〉

3

ENTER キーを押す

テイキ セッテイ クリーニンク゛ カンカク = **1**h

4

● ● を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

テイキ セッテイ クリーニンク゛ カンカク = **4**h

• 設定値: OFF.1 ~ 168 時間

5

(FUNCTION) キーを押す

クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

テイキ セッテイ クリーニンク゛ タイフ゜ : <mark>フ</mark>ーマル

▲ ▼ を押して、クリーニング タイプを選ぶ

テイキ セッテイ クリーニンク゛ タイフ゜ : **ソ**フト

• 設定値: ノーマル、ソフト、ハード

7

ENTER キーを押す

テイキ セッテイ クリーニンク゛ カンカク = 4h

8

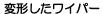
その他のメンテナンス機能

ワイパー交換の警告時期を変更する

ワイパーは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。 また、曲がったり摩耗したワイパーではクリーニング効果が得られません。ワイパーレベルを 設定して、環境によってワイパー交換時期の警告を標準より早期に促します。

正常なワイパー







| 10/10 | 標準のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。(初期値) | |
|-------|--|--|
| 9/10 | 標準の 9/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。 | |
| 8/10 | 標準の 8/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。 | |
| | | |
| 1/10 | 1/10 標準の 1/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。 | |

1

メンテナンスメニューの[ワイパーレベル]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) (本) を押して[ワイパーレベル]を選ぶ

2

ENTER キーを押す

「ワイハ°ー レヘ゛ル レヘ゛ル :1**0**/10

3

● ● を押して、ワイパーレベルを設定する

• 設定値:1/10~10/10

ワイハ°ー レヘ゛ル レヘ゛ル : **9**/10

4

ENTER)キーを押す

メンテナンス ワイハ゜ー レヘ゛ル 〈ent〉

5

メディア残量表示の設定をする

メディア残量表示の設定をします。

| メディア残量表示を | リモートモードでメディア残量が表示されます。 | |
|-----------------------|----------------------------------|--|
| ON にすると | (ただし、リーフメディアを使用した場合は、作図長を表示します。) | |
| メディア残量表示を OFF にすると | リモートモードでメディア残量は表示されません。 | |



- 作図、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値)はロールメディア検出時に入力します。(② P.2-12)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

1

メンテナンスメニューの[メディア ザンリョウ]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) 🔼 💌 を押して [メディア ザンリョウ] を選ぶ
- (4) ENTER キーを押す
- 2

▲ を押して、ON/OFF を 選ぶ

メテ゛ィア サ゛ンリョウ セッテイ : **0**FF

3

ENTER キーを押す

メンテナンス メテ゛ィア サ゛ンリョウ 〈ent〉

4

メディア残量を作図する

現在のメディア残量を作図することができます。



- メディア残量表示の設定を "ON" にしてください。
- メディア交換時には、今現在お使いのメディアに残量を作図しておくことをお勧めします。あらかじめメディア残量を作図しておけば、交換したメディアを再度使うとき、メディア検出後のメディア残量入力画面(②P.2-12)で正確な数値を入力できます。

1

ケ゛ンテン セッテイ 0.0 ———

原点設定モードになります。

2

▲ ▼ ◆ を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- ・ (本) (本) でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- 原点を変更しない場合は、を押さずに手順3へ進んでください。
- ここで ENTER キーを押すと、原点が変更 されローカルモードに戻ります。



3

REMOTE キーを押す

- ・ (本) (本) (本) を押すと、手順2の画面に戻ります。
- (END) キーを押すと、ローカルモードに 戻ります。

4

ENTER キーを押す

- メディア残量の作図を開始します。
- 作図が終わると、ローカルモードに戻ります。

(重要!)

• 原点を変更して作図すると、以降のデータの作図をするときもここで設定した原点 が有効になります。

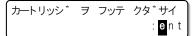
昇華転写インクをより安定した品質で使うために

昇華転写インクをお使いのとき、装置を放置した後に印刷を行うと色材の沈降が原因で色味の変化が生じることがあります。

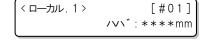
定期的にインクカートリッジを振るまたはインク充填を行うことにより、状況が緩和されます。(インク充填を行う前にも、インクカートリッジを振る必要があります。)

インクカートリッジを振るまたはインク充填を行う時期になると、ディスプレイにメッセージ(色材沈降予防ワーニング)を表示してお知らせします。

● インクカートリッジを振る時期がきた場合 (MBIS をお使いの場合は表示されません)







● インク充填を行う時期がきた場合

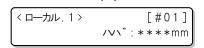


MBIS をお使いの場合、このメッセージは表示されません。



[インク シ゛ュウテン] ヲ シ゛ッコウ シテクタ゛サイ : **e**nt







この表示は、ローカルモードになっているとき、またはリモートモードからローカルモードに切り替えたときに表示されます。

印刷を中断したり、連続印刷を妨げることはありませんが、リモートモード中には表示されません。印刷しないときは、REMOTE キーを押してローカルモードに切り替えることをお勧めします。

インクカートリッジの振り方

振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでカートリッジ上面の A 部とカートリッジ底面の B 部をしっかりと塞ぎ、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。



- 強く振りすぎると内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、カートリッジが縦になるまで傾けてください。





A部(針の差し口)

B部 (底面の隙間)



紙タオルでしっかりと押さえてゆっくり振る

重要!

- インクカートリッジを強く振りすぎると、内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となる恐れがありますのでお気をつけください。
- 新品カートリッジの場合は、袋から出す前に振ってください。
- 使用中のカートリッジの場合は、必ず手袋を着用の上、差し込み口側にウェスなどを押し当てて振ってください。
- インク残量が少ない場合は、十分に撹拌できない可能性があるため、カートリッジ が縦になるくらいまで傾けてください。



- MBIS をお使いの場合は、エコケースや中間カートリッジを振らないでください。
- MBIS の中間カートリッジは極力、抜き差しをしないでください。インク漏れの原因となります。

ワーニングメッセージの表示時期を設定する

本装置を設定している環境に合わせて、色材沈降予防ワーニングを表示させる時期を設定してください。

1

メンテナンスメニューの[テイキセッテイ]を選ぶ

- (1) ローカルで、(FUNCTION)キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) ▲ ▼ を押して [テイキセッテイ] を選ぶ
- **(4) ENTER** キーを押す
- 2

▲ を押して、[Sub-INK ワーニング] を選ぶ

テイキ セッテイ Sub-INK ワーニンク゛ 〈ent〉

3

ENTER キーを押す

テイキ セッティ Sub-INK ワーニンク = 72h

4

▲ ▼ を押して、動作時間を 設定する

テイキ セッテイ Sub-INK ワーニンク゛ = **8**4h

- 設定値: OFF (無効),12~120時間
- 5

ENTER キーを押す

テイキ セッテイ Sub-INK ワーニンク゛ 〈ent〉

6

ヘッドの高さ調整についてのご注意

昇華転写インクをお使いの場合、ヘッド高さを 5mm(H レンジ / アツイ)にしてお使いになると、作図品質に影響がでる場合があります。

ヘッド高さは4mm(Hレンジ/ウスイ)または、Lレンジにしてお使いになることをお勧めします。



 ヘッド高さが5mmになっていると、作図開始時 や電源オン時に右のメッセージを表示すること があります。

カ゛シツテイカ ノ カノウセイ アリ ヘット゛タカサ カクニン :ent

ENTER キーを押すと、メッセージが消えます。

- 現在のヘッド高さは、次の操作で確認できます。
 - (1) ローカルモードで ENTER キーを押す
 - (2) ENTER キーを数回押して、"ヘッドタカサ"を表示させて確認する
 - "ヘッドタカサ: ウスイ" = ヘッド高さが 2mm
 - "ヘッドタカサ: アツイ" = ヘッド高さが 3mm
 - "ヘッドタカサ: ウスイ+" = ヘッド高さが 4mm
 - "ヘッドタカサ: アツイ+" = ヘッド高さが 5mm
- ヘッド高さの調整方法は、P.2-6「ヘッド高さを調整する」をご参照ください。
- Lレンジ⇔Hレンジの変更については、弊社営業へお問い合わせください。

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。本装置では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。(**廃インクタンク交換の目安としてお使いください。**)

インク充填などを実行するときにメッセージが表示されたら

インク充填やヘッドクリーニング、PUMP チューブ洗浄など、廃インクタンクを使用する機能を実行するとき、廃インクタンクの状態によって廃インクタンクの確認を促すメッセージを表示します。

● 廃インクタンクが二アフルの場合

右のメッセージが表示される

ハイインク タンク カクニン ケイソ゛ク< > コウカン

1

廃インクタンクの状態を確認する

廃インクタンクが一杯に近い場合

- (1) 廃インクタンクを交換 (公子 P.4-41) する
- (2) ENTER キーを押して"コウカン"を選択する(インク排出量をリセットする)

廃インクタンクに余裕がある場合

- (1) 全 を押して "ケイゾク"を選択する(インク排出量をリセットしない)
 - この場合、ローカルモードにもどると、 P.4-40 「ローカルモードでの確認メッセージ」のメッセージが表示されます。

● 廃インクタンクがフルの場合

右のメッセージが表示される

ハイインク ダンク カクニン コウカン : e n t

1

廃インクタンクを交換 ((P.4-41) し、 ENTER キーを押す

インク排出量のリセットを行います。

重要!

- 廃インクタンクが二アフルまたはフルのとき、上の操作で"コウカン"を選んだ場合は、必ず廃インクタンクの交換(②P.4-41)をしてください。交換しないでそのままお使いになると、確認メッセージが表示されないうちに廃インクがあられることがあります。
- ステーションメンテナンスのノズルセンジョウ、PUMP チューブセンジョウ、ホカンセンジョウをしたときに排出した廃インクは、本装置で累積カウントされません。これらの操作をする前後は、必ず廃インクタンクの状態を確認してください。

ローカルモードでの確認メッセージ

右のメッセージが表示される

 〈ローカル. 1〉
 [#01]

 ハイインク タンク カクニン 〈MNT〉

1

廃インクタンクを確認し、必要に応じて廃インクタンクの交換をする (冷 P.4-41)

廃インクタンクの確認メッセージを表示させたくないとき

廃インクタンクの確認メッセージを表示させないように設定できます。

1

マシンセッテイメニューの[ハイインクワーニング]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、(FUNCTION)キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [マシンセッテイ] を選び、 ENTER キーを押す
- (3) (本) を押して[ハイインクワーニング]を選ぶ
- (4) ENTER キーを押す

2

▲ ▼ を押して、OFF を選ぶ

ハイインク ワーニンク゛ セッテイ : **○**FF

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ ハイインク ワーニンク゛ 〈ent〉

4

終了するとき、ENDキーを数回押す

(重要!)

• 廃インクタンクワーニングの設定を "OFF" にすると、確認メッセージは表示されなくなります。必ず廃インクタンク内のインク残量を目視で確認するようにしてください。

廃インクタンクを交換する

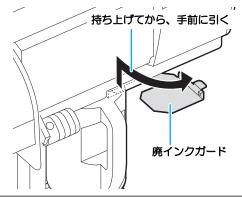
右のメッセージが表示されたら、速やかに廃インクタンクを確認し、状況に応じて交換してください。

< ローカル. 1 > [#01]
ハイインク タンク カクニン <MNT >

1

廃インクタンクガードを外す

- (1) 廃インクタンクガードを持ち上げて、ロックを外す
- (2) 廃インクタンクガードを手前に開

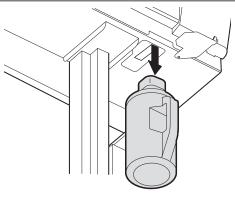


2

廃インクタンクの取っ手を持 ち、手前に引いて取り出す

取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。

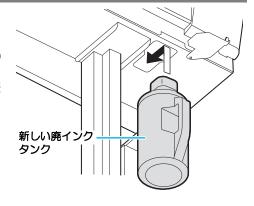




3

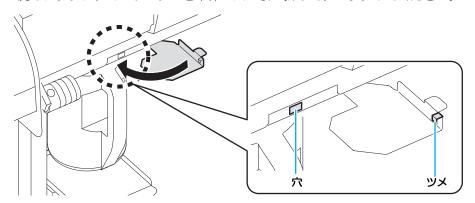
廃インクタンクを交換する

- (1) 新しい廃インクタンク (SPC-0117) を用意する
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む



廃インクタンクガードを閉じる

• 廃インクタンクガードのツメを本体の穴に引っ掛けて、ロックしてください。



5

メンテナンスメニューの[ハイインクタンクコウカン]を選ぶ

- (1) ローカルモードで、(FUNCTION)キーを押す
- (2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、 ENTER キーを押す

6

ENTER)キーを押す

• 本装置で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

ハイインクタンク コウカン コウカン : ent

7

インクセットを変更したいとき

お使いになっているインクセットを変えることができます。



• 「4 色モデル」から「6 色モデル」にするなどインクセットを変更したい場合は、 サービスエンジニアによる作業が必要です。弊社サービスまたは販売店にお問い合 わせください。

カツター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0107) に交換してください。



- 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。また、使用済みの カッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

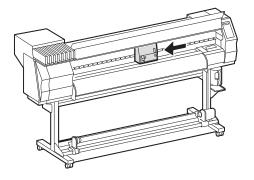


• カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。



ST.MAINTE キーを押し、 ENTER キーを押す

キャリッジがプラテン上に移動します。



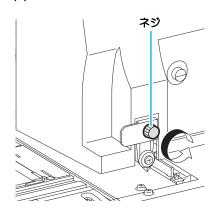
2

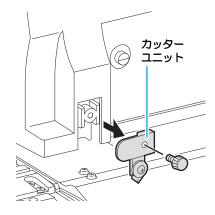
フロントカバーを開ける



キャリッジ横のカッターユニットを交換する

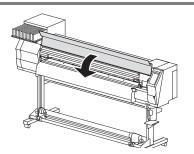
- (1) カッターユニットのネジを緩める
- (2) カッターユニットを取り外す
- (3) 新しいカッターユニットを取り付ける
- (4) カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定する





4

フロントカバーを閉じる



5

ENTER キーを押す

ローカルモードに戻ります。

第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

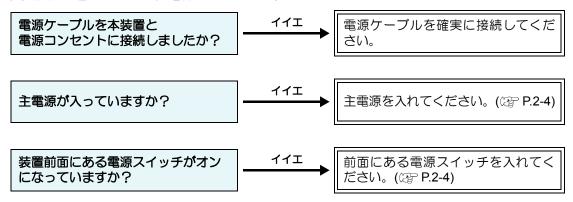
| 故障?と思う前に | 5-2 |
|------------------|-----|
| 電源が入らない | 5-2 |
| 作図できない | 5-2 |
| メディア詰まり/メディアが汚れる | 5-3 |
| 画質不良が発生したときは | 5-4 |
| ノズル詰まりを解消したいとき | 5-4 |
| カートリッジ異常が発生したら | 5-5 |
| メッセージを表示するトラブル | 5-6 |
| ワーニングメッセージ | 5-6 |
| エラーメッセージ | 5-8 |

故障?と思う前に

故障?と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

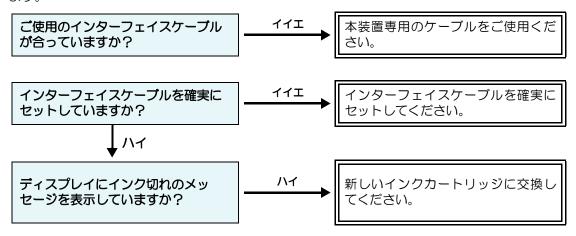
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



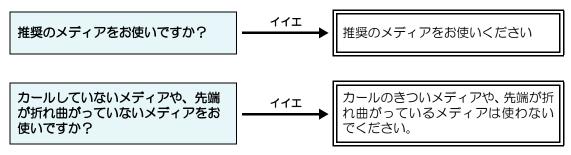
作図できない

作図ができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。 また、作図機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられ ます。



メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



画質不良が発生したときは

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

| 現 象 | 対処方法 |
|----------------------------------|---|
| 白スジ/カスレ/色の濃いスジが 発生する(ヘッド移動方向) | (1) ヘッドクリーニングを行ってください。 (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。 (3) 「メディア補正」機能を実行してください。 (4) メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、 紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り 除いてください。 |
| 文字が用紙送り方向に2重、3重にプレる | (1) 「メディア補正」機能を実行してください。 ^② P.3-5 |
| 往復印字でズレが発生する | (1)「ドット位置補正」機能を実行してください。 ② P.4-23 |
| 作図中にインク滴が落ちる | (1) ワイパーを清掃してください。② P.4-6 (2) インクキャップのクリーニングをしてください。② P.4-6 (3) ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。② P.2-17 (4) 症状が改善されないときは、定期ワイピングの設定を行ってください。② P.4-27 |

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-17 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の 2 つの 項目を確認してください。

- P.4-18 の操作をして、インクの充填をしてください。
- P.4-19 の操作をして、インクの交換をしてください。

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、ワーニングメッセージを表示します。 作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。 速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

重要!

カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示する

次の操作をして、カートリッジ異常の内容を確認できます。((227 P.5-7)

1

ローカルモードで、ENTER キーを 押す

 SbXX
 MMBBYYKK

 サンリョウ
 34567899

2

(FUNCTION) キーを押す

ヒシ゛ュンセイ インク ---B----

- 複数のカートリッジ異常が発生している場合、▲ ▼ を押すと、順番に表示します。
- (FUNCTION) キーまたは(END) キーを押すと、インク残量表示に戻ります。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。 メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

| 表示 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|--|
| カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ. | フロントカバーまたはメンテナン スカバーが開いている。 | フロントカバー、メンテナンスカバー を確認してください。 カバーを閉めても、再度表示する場合 は弊社サービスおよび販売店にサービ スコールしてください。 |
| * メテ゛ィアカ゛ アリマセン * | メディアがセットされていない。 | メディアをセットしてください。 |
| !ハ゛ッテリー コウカン シテクタ゛サイ | 内部時計の電池切れを検出した。 | 弊社サービスおよび販売店にサービス コールしてください。 |
| ⟨□−カル.1⟩ [#01] ワイハ° − コウカン ⟨MNT⟩ | キャッピングステーションのワイパー 交換時期 (ワイピング回数が規定値に達した。) | ワイパーを交換してください。 (②F P.4-8) |
| (ローカル・1 > [#01] ! テストサクス* ヲ シテクタ*サイ | 放置時間が長いため、ノズルの復 旧が見込めない。 | テスト作図を行い、ノズル抜けを確認します。 ノズル抜けがある場合はクリーニングを行なってください。(②P.2-17) ノズル抜けがひどい場合は、P.4-10「ヘッドノズルの洗浄」の操作をしてください。 |
| (ローカル・1 > [#01] ニアエント* MMBB MMBB MMBB MMBB MMBB MMBB | 1 供給経路あたりのインクが少な くなった。 | 表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。 そのままでも(インクエンドが発生するまで)作図可能ですが、1ファイル作図終了毎にローカルモードへ移行します。 |
| (ローカル・1 > [#01] インクエント* YYKK *リモート・1 * [#01] インクエント* YYKK | 1 供給経路あたりのインクが終 わった。 | 表示しているカラーに対応する供給経 路のカートリッジを交換してくださ い。 |
| (ローカル・1 > [#01] カートリッシ* Y Y K K *リモート・1 * [#01] カートリッシ* Y Y K K | 1 供給経路あたりのカートリッジ 起因による供給不可がある。 | 表示しているカラーに対応する供給経 路のカートリッジを確認してくださ い。 |
| (ローカル・1 > [#01] カートリッシ゛ サイセット | インクの残量が多いカートリッジ を挿入した直後に、ニアエンドを 検出した。 | 挿入したカートリッジを抜いて再挿入 してください。再度表示される場合は、 弊社サービスまたは販売店にサービス コールしてください。 |

| 表示 | 原因 | 対処方法 |
|--|--|---|
| (ローカル・1 > ! CAR[#01] *リモート・1 * ! CAR[#01] | 装填したインクカートリッジに問 題がある。 | ガイダンス機能でワーニング詳細を表 示して内容を確認してください。 |
| インク ニア エント゛ MMBB | インクカートリッジのインクが少な くなった。 | ワーニングが発生しているカートリッジ を交換してください。 |
| インク エント * YYKK | インクカートリッジのインクがなく なった。 | ワーニングが発生しているカートリッジ を交換してください。 |
| ヒシ゛ュンセイ インク YYKK | インクカートリッジがミマキ純正品 でない。 | ワーニングが発生しているカートリッジ をミマキ純正品に交換してください。 |
| インク IC イシ゛ョウ YYKK | インクカートリッジのIC チップが正 常に読み込めない。 | ワーニングが発生しているカートリッジ を再挿入してください。 ワーニング解消しない場合は弊社サービ スおよび販売店にサービスコールしてく ださい。 |
| インク シュルイ | インクカートリッジのインク種類が 充填してあるインクと異なる。 | ワーニングが発生しているカートリッジ のインク種類を確認してください。 |
| インク カラー | インクカートリッジのインクカラー が充填してあるインクと異なる。 | ワーニングが発生しているカートリッジ のインクカラーを確認してください。 |
| カートリッシ゛イシ゛ョウ | 装填したインクカートリッジが異常 | ワーニングが発生しているカートリッジ を確認してください。 |
| カートリッシ゛ナシ | インクカートリッジがスロットに挿 入されていない。 | ワーニングが発生しているスロットに カートリッジを挿入してください。 |
| カートリッシ゛ キ゛レ | インクカートリッジの使用有効期限が切れている。 | ワーニングが発生しているカートリッジ を交換してください。 そのままでも(使用期限翌月までは)使用 可能です。 |
| キケ`ン キ`レ (1カケ`ツ) | インクカートリッジの使用有効期限 が切れている(期限切れから1ヶ月経 過)。 | 赤 LED が点滅します。ワーニングが発生 しているカートリッジを交換してください。 そのままでも(使用期限翌々月までは)使 用可能です。 |
| キケ`ン キ`レ (2カケ`ツ) | インクカートリッジの使用有効期限 が切れている(期限切れから2ヶ月経 過)。 | ワーニングが発生しているカートリッジ を交換してください。 |
| サ゛ンリョウ O | インクカートリッジの残量が 0 | ワーニングが発生しているカートリッジ を交換してください。 |
| (ローカル・1 > [#01] ハイインク タンク カクニン (MNT) | 廃インクタンクがフル間近。 | 廃インクタンクを交換し、[メンテナンス]-[ハイインクタンク コウカン]を実行してください。(② P.4-41) |

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。 それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

| 表示 | 原因 | 対処方法 |
|--|--|--|
| ***** ERROR 01 ***** MAIN ROM | 制御基板に異常が発生した。 (ROM) | |
| ***** ERROR 02 ***** MAIN RAM | 制御基板に異常が発生した。 (RAM) | |
| ***** ERROR 03 ***** POWER +5V | 制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +5V) | |
| ***** ERROR 03 ***** POWER +24V | 制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +24V) | |
| ***** ERROR 03 ***** POWER +42V | 制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +42V) | |
| ***** ERROR 04 ***** フラッシュ ROM | 制御基板に異常が発生した。 (パラメーター ROM) | |
| ***** ERROR 06 ***** SD-RAM | 制御基板に異常が発生した。 (SDRAM) | 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってか ら主電源を ON にしてください。 |
| ***** ERROR 07 ***** ヘット゛ () | ヘッドの接続に異常を検出した。 (異常な温度を検出) | 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 |
| ***** ERROR 07 ***** テ゛ンアツ () | ヘッドの接続に異常を検出した。 (異常な電圧を検出) | |
| ***** ERROR 08 ***** リニアエンコータ゛ー: センサー | リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (カウントできない) | |
| ***** ERROR 08 ***** リニアエンコータ゛ー: ホウコウ | リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (取り付け方向の異常) | |
| ***** ERROR 08 ***** リニアエンコータ*ー: カウント | リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (読み出しカウント数異常) | |
| ***** ERROR 09 ***** FPGA ITT | 制御基板に異常が発生した。 (FPGA PDC) | |
| ***** ERROR 09 ***** HDC IF- () | 制御基板に異常が発生した。 (FPGA HDC) | |

| 表示 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ***** ERROR 10 ***** コマント* エラー | コマンドデータ以外のデータを 受信した。 | インターフェイスケーブルを確実に接続して ください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを 使用してください。 |
| ***** ERROR 11 ***** ハ°ラメーター エラー | 数値範囲外のパラメーターを受信した。 | 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 |
| ***** ERROR 16 ***** MRL コマント* | 受信データが、装置で設定したコ マンド体系と異なる。 | 本装置に対応したコマンド体系のデータを送信してください。 |
| ***** ERROR 25 ***** FULL-SPEED | USB2.0接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。(Full-Speed モード接続) | ホスト PC が USB2.0 インタフェイスに対応 しているか確認してください。 (そのまま使用できますが、Hi-Speed モード 接続を推奨します。) |
| ***** ERROR 25 ***** ハ゜ケットサイス゛ オーハ゛ー | USB2.0接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。 | |
| ***** ERROR 25 ***** USB プロトコル | USB2.0接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。 | ケーブルが確実に接続してあるか、またはホ ストコンピュータ側でエラーが発生していな |
| ***** ERROR 25 ***** USB カンキョウ | USB2.0接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。 | いか確認してください。 |
| ***** ERROR 25 ***** USB データー | USB2.0接続でホストコンピュータとプリンタとの通信にエラーが発生した。 | |
| ***** ERROR 30 ***** シ゛ッコウ テ゛キマセン | 操作パネルで不当なオペレーションをした。 | 正しいオペレーションをしてください。 |
| ***** ERROR 34 ***** ミサクス゛テ゛ーター アリ | 受信済みで末作図のデータがあ るのに、ファンクション機能の設 定を変更しようとしている。 | 受信済みのデータを全て作図するか、データ クリアを実行してから、設定機能を変更して ください。 |
| ***** ERROR 40 ***** モーターアラーム X | X モーターに過大な負荷がか かった。 | |
| ***** ERROR 41 ***** モーターアラーム Y | Y モーターに過大な負荷がか かった。 | |
| ***** ERROR 42 ***** X オーハ゛ーカレント | X モーターの過電流エラーを検出した。 | 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 |
| ***** ERROR 43 ***** Y オーハ゛ーカレント | Y モーターの過電流エラーを検出した。 | |
| ***** ERROR 45 ***** キャッヒ゜ンク゛: ハ゜ラメーター | キャッピング制御に異常が発生した。(パラメーター調整値不正) | |

| 表示 | 原因 | 対処方法 |
|---|--|---|
| ***** ERROR 46 ***** ワイハ°ー | ワイパー制御に異常が発生した。 | 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 |
| ***** ERROR 50 ***** メデ゛ィア ハハ゛ センサー カクニン | 用紙を検出できなかった。 メディアのセット位置、使用メ ディアが不適当。 | メディアを正しくセットしても、エラーを表示する場合は弊社サービスおよび販売店に サービスコールしてください。 |
| ***** ERROR 50 ***** メテ・ィア イチ ヒタ・リ スキ・マス ***** ERROR 50 **** メテ・ィア イチ ミキ・スキ・マス | メディアのセット位置が不適正 のため、メディア検出が完了しな かった。 | メディアを正しい位置にセットし直してください。(公子 P.2-8、P.2-13) |
| ***** ERROR 51 ***** Y ケ゛ンテン | Y 原点検出ができなかった。 | 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 |
| **** ERROR 120 **** シツオン ヒクイ (XX°C) | 室温が使用可能温度範囲外 (低い)になっている。 | ・ 室温を調整してください。(②デ P.3-34) |
| **** ERROR 121 **** シツオン タカイ (XX°C) | 室温が使用可能温度範囲外 (高い)になっている。 | Time Constitution (vig 1.001) |
| **** ERROR 144 **** カートリッシ゛セット! | カートリッジが挿入されていな いスロットがある。 | カートリッジをセットしてください。 |
| **** ERROR 200 **** ヘット゛ メモリー () | ヘッドユニットメモリーに異常 が発生した。 | 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってか ら主電源を ON にしてください。 |
| **** ERROR 202 **** ソウチ コウセイ | ヘッドが接続されていない ヘッドスライダー基板異常 純正ヘッドではない | 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 |
| **** ERROR 203 **** SDRAM #172* | 装置に必要なサイズの SD-RAM が搭載されていない。 | 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 (使用可能な SDRAM が存在する場合は、そのまま起動できますが、解像度によっては作図スピードが低下します。) |
| **** ERROR 207 **** XXXXXXXXXX | ディスプレイ下段に印字してい る波形の異常を検出した。 | 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 |
| **** ERROR 208 **** CHECK MAIN PCB ID XX | メイン基板の機種 ID が違ってい ます。(XX は ID コード) | 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってか ら主電源を ON にしてください。 |
| **** ERROR 250 **** Y サ`ヒョウ | スキャン動作時に異常を検出し た。 | 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 |

| 表示 | 原因 | 対処方法 |
|---------------------------------|------------|------|
| **** ERROR 251 **** システム エラー | システムエラーが発生 | |

第6章 付録



この章では ...

本装置の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

| 本体仕様 | 6-2 |
|--------------|-----|
| インク仕様 | 6-4 |
| お問い合わせシート | 6-5 |
| 警告ラベルについて | 6-6 |
| 型型 単能フローチャート | 6-8 |

本体仕様

| 項 | | TS30-1300 | |
|---------------------|---------------------|---|--|
| | 方式 | オンデマンドピエゾヘッド | |
| 作図ヘッド部 | 仕様 | 1ヘッド | |
| 作図モード (スキャン x フィード) | | 720 x 540dpi 540 または 720 x 720dpi 540 x 900dpi 540 または 720 x 1080dpi 720 x 1440dpi 1440 x 1440dpi | |
| 使用可能インク | | 昇華転写インク (Sb54):4 色 (Y,M,BI,K) 6 色 (Y,M,BI,K,LBI,Lm) | |
| インク供給 | | インクカートリッジからのチューブ供給 インクカートリッジ交換方式: 4 色時のみ、2 カートリッジ /1 色によるトグル切換供給 | |
| インク容量 | | 6 色搭載時: 440cc または 220cc カートリッジ各色 1 本 440cc/1 色 または 220cc/1 色 (M,BI のみ 2 本、880cc または 440cc) 4 色搭載時: 440cc または 220cc カートリッジ各色 2 本 880cc/1 色 または 440cc/1 色) | |
| 使用可能メディア | | フォトペーパー、合成紙、転写紙 | |
| 最大作図範囲 | | 1361mm | |
| | 最大幅 | 1371mm | |
| | 最小幅 | 210mm | |
| | 厚さ | 1.0mm 以下 | |
| │ ロールメディア │ サイズ | ロール外径 | Ф180mm 以下 | |
| | ロール重量 ^{*1} | 25kg 以下 | |
| | 紙管内径 | 2 インチまたは 3 インチ | |
| | 作図面 | ロール外側面 | |
| リーフメディア | 最大幅 | 1371mm | |
| サイズ | 最小幅 | 210mm | |
| 作図マージン | リーフ メディア | 左右 : 15 mm (デフォルト値) 前 : 40.0 mm 後 : 98.5 mm | |
| IFA ()) | ロール メディア | 左右: 15 mm (デフォルト値) 前: 40.0 mm 後: 0.0 mm | |
| 上 上 距離精度 | 絶対精度 | ±0.3 mm または指定距離の±0.3 % の大きい方 | |
| | 再現性 | ±0.2 mm または指定距離の±0.1%の大きい方 | |
| 直角度 | | ± 0.5 mm / 1000 mm | |
| メディアスキュー | | 5 mm 以下 / 10 m | |
| ヘッド高さ調整 | | 2.0mm/3.0mm(プラテン面より)2 段階調整 | |
| メディア裁断 | | ヘッド部カッターによる Y 方向カット , 裁断精度 (段差) 0.5 mm 以下 | |
| 廃インクタンク | | ボトル式 (2000 cc) | |
| インターフェイス | | USB 2.0 | |
| コマンド | | MRL- Ⅲ | |
| | 待機時 | 58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m) | |
| 騒音 | 動作連続音 | 65 dB 以下 | |
| | 動作不連続音 | 70 dB 以下 | |

| 項 | | TS30-1300 |
|------|--------|---|
| 適合規格 | | VCCI-classA, FCC ClassA, UL 60950, CE マーキング (EMC 指令、 低電圧指令), CB レポート , RoHS 対応 |
| 電源仕様 | | AC100~120±10%, AC220~240±10%, 50/60Hz±1Hz, 15A以下 |
| 消費電力 | | 300 W 以下 |
| | 使用可能温度 | 20 ℃~ 35 ℃ |
| | 相対湿度 | 35 ~ 65% Rh (結露なきこと) |
| 設置環境 | 精度保証温度 | 20 ℃~ 25 ℃ |
| | 温度勾配 | ±10 ℃ / h 以下 |
| | 粉塵 | オフィス相当 |
| 重量 | | 145 kg |
| | 幅 | 2289 mm |
| 外形寸法 | 奥行き | 739 mm |
| | 高さ | 1424 mm |

^{*1.} ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。

インク仕様

| 項目 | | 水性インクをご使用の場合 |
|-------|-----|--|
| 形態 | | 専用昇華転写インクカートリッジ |
| 色 | | ブラックインクカートリッジ ブルーインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトブルーインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ |
| インク容量 | | 220cc / 440cc カートリッジ |
| 有効期限 | | 有効期限は、インクカートリッジに記載されている通り。 |
| 保存温度 | 保存時 | 10~35°C(1日の平均気温) ・容器は密閉した状態で保管すること。 ・乾燥した換気の良い冷暗所に保管すること。 |
| | 輸送時 | 0 ~ 40 °C • 0 °Cより低温になる場所、 40 °Cより高温になる場所は避けること。 |

重要!

- ●インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。
- インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。 インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保 管してください。

お問い合わせシート

プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。 下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

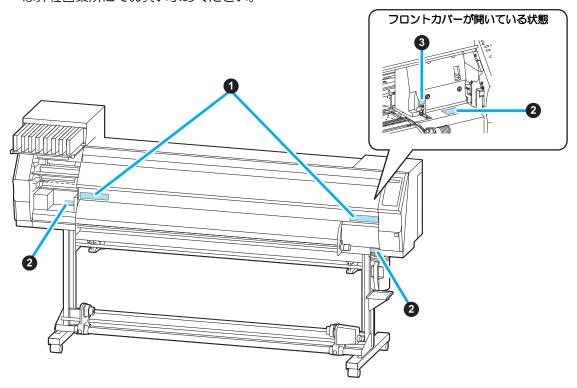
| 御社名 | |
|---------------------|--|
| ご担当者名 | |
| お電話番号 | |
| プリンタ機種名 | |
| お使いの OS | |
| マシン情報 ^{*1} | |
| エラーメッセージ | |
| お問い合わせ内容 | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

付録

^{*1. 「}第3章 便利な使い方」の、「装置情報を確認する」をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。(②P.3-45)

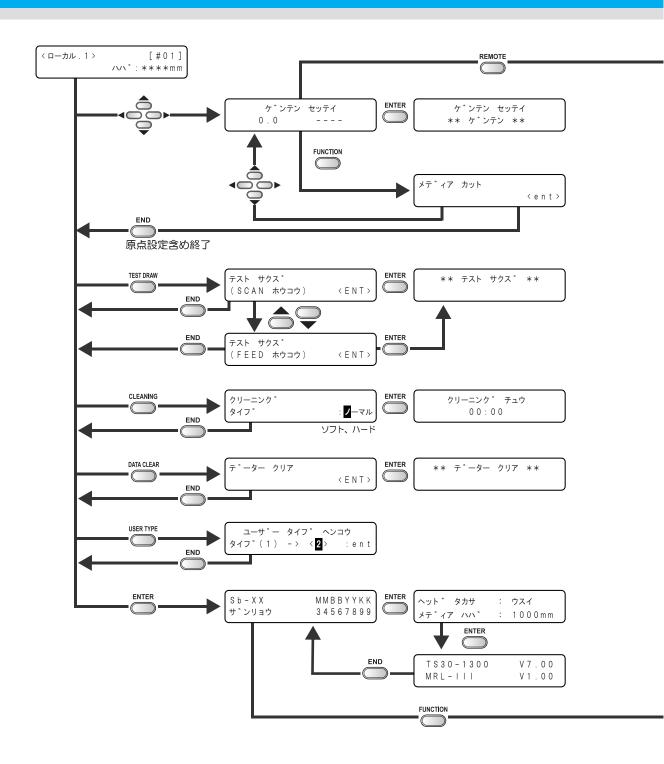
警告ラベルについて

本装置には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。 なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店また は弊社営業所にてお買い求めください。

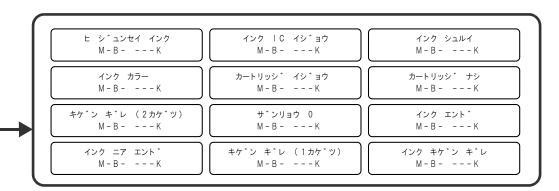


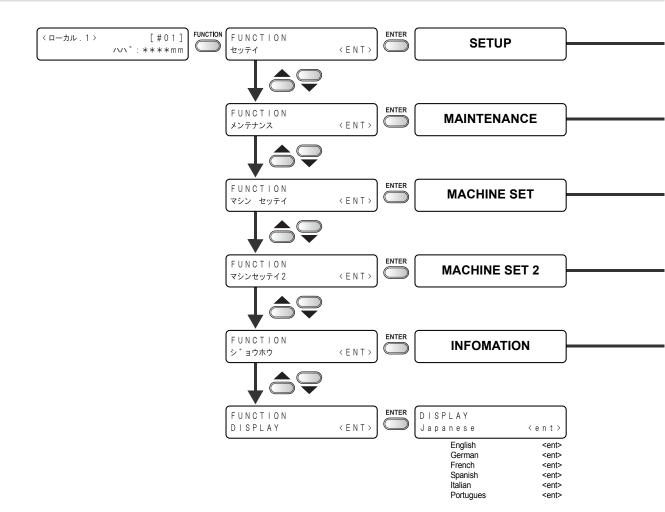
| 1 | M901549 | 注意 注意 企文注意 企文型 ACHTUNG ATTENTION ※ACHTUNG ※ATTENTION ※ATTENTION ※ACHTUNG ATTENTION OCHARIOT MOBILE- Finger nicht in diesen Bereich bringen. CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. | |
|---|---------|--|--|
| 2 | M903330 | | |
| 3 | M903405 | | |

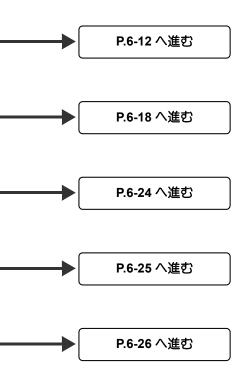
機能フローチャート

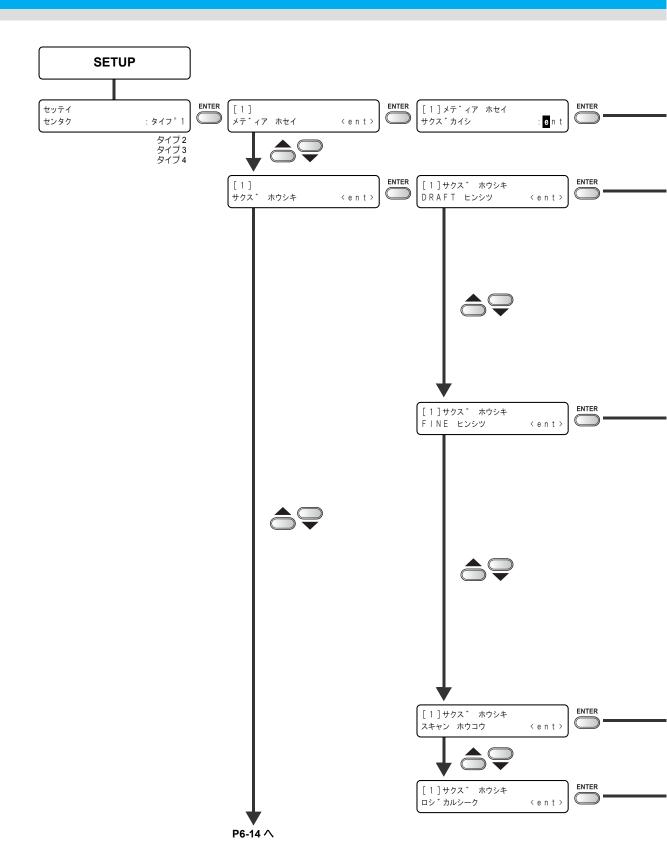


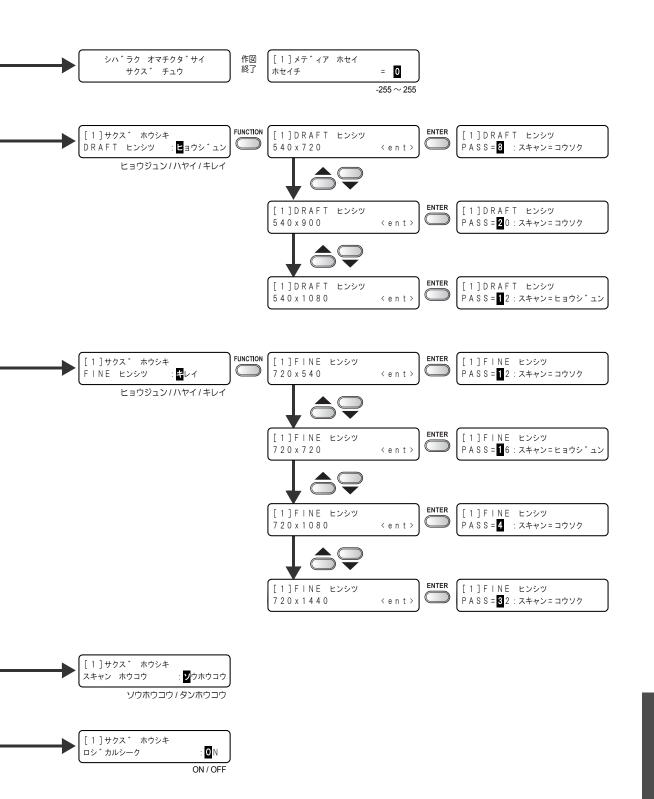
メテ・ィア サ・ンリョウ サクス・ 〈ENT〉 メンテナンスメニューの[メディアザンリョウ]が"ON"の場合のみ

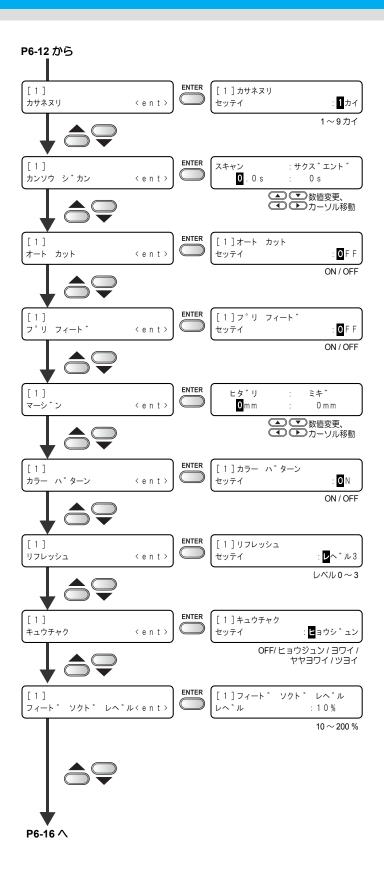




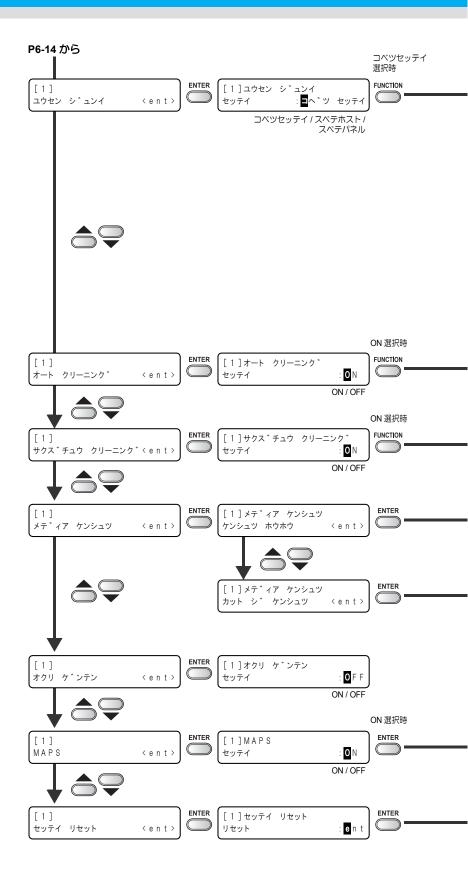


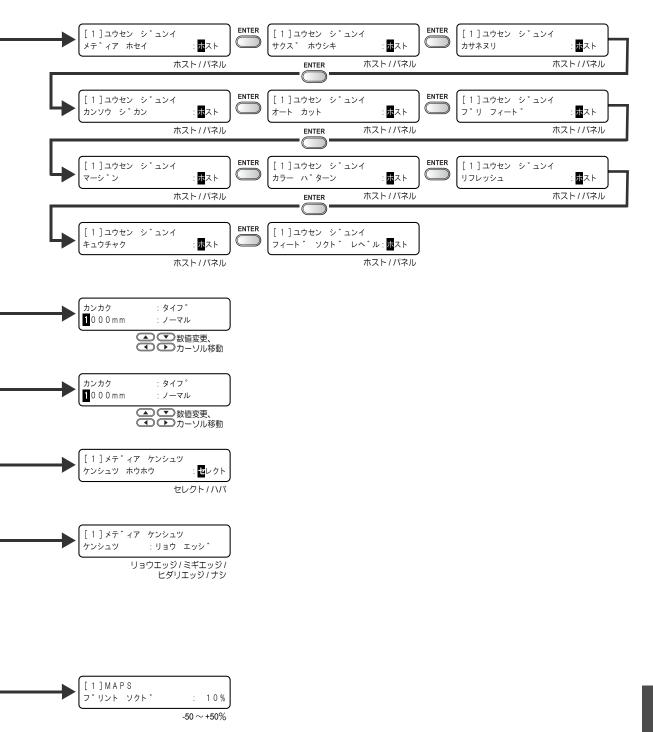




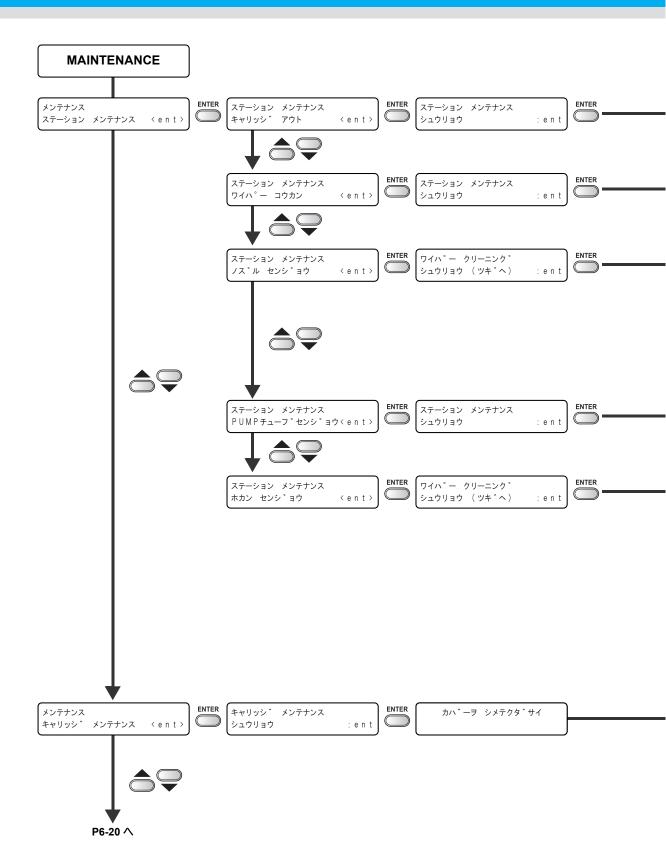


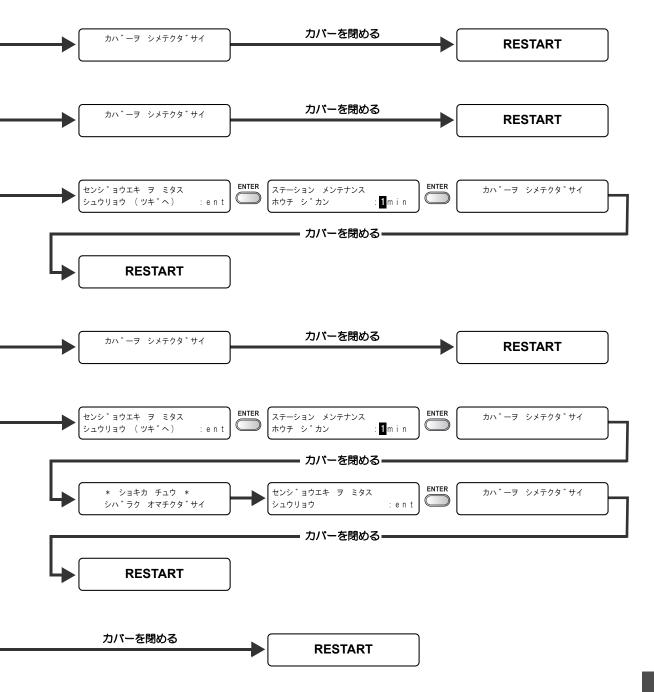
切録

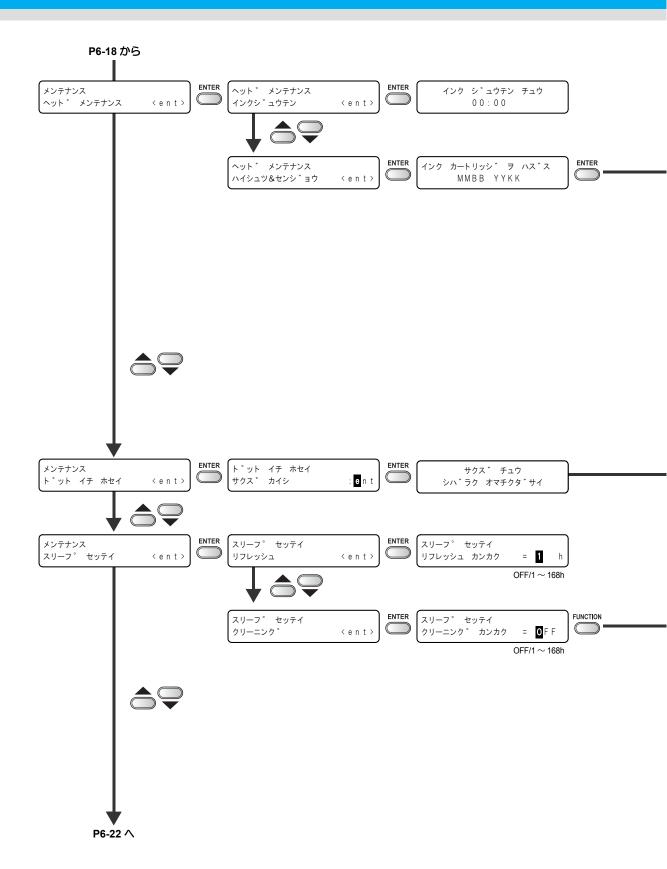


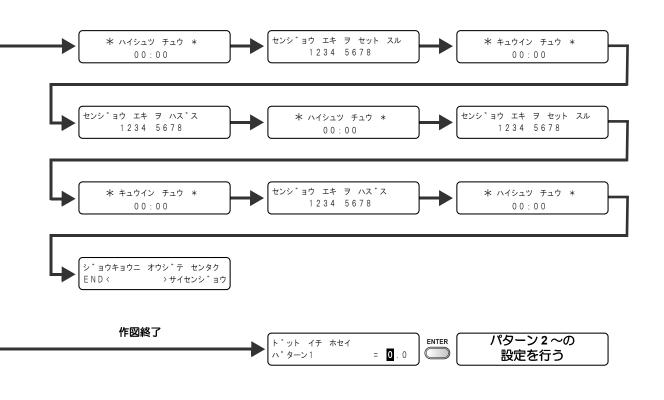


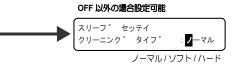
選択ユーザータイプの 設定パラメータの初期化

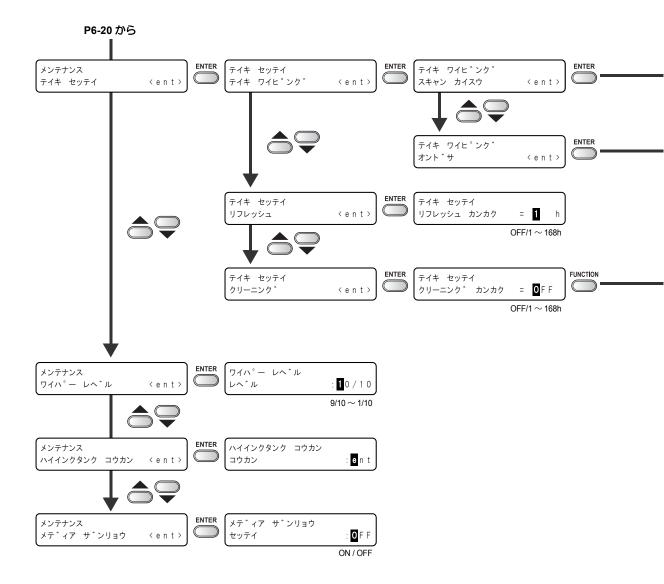


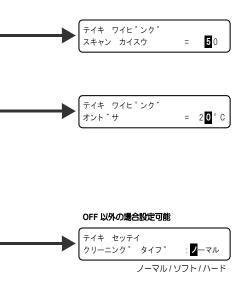


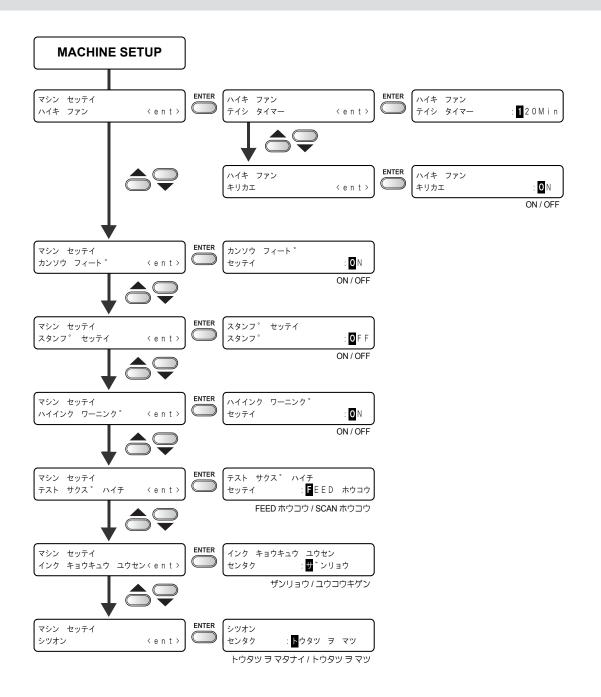


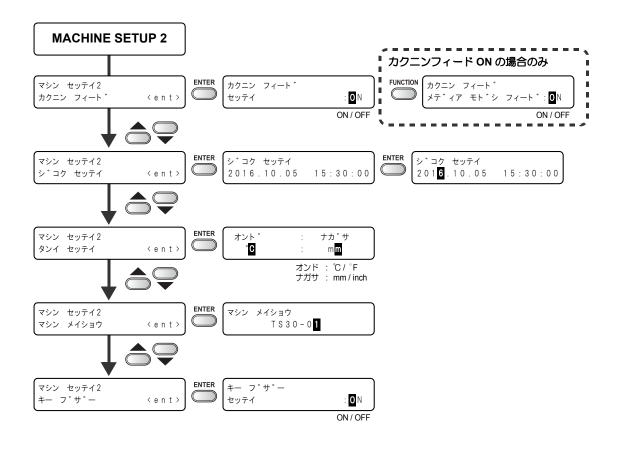


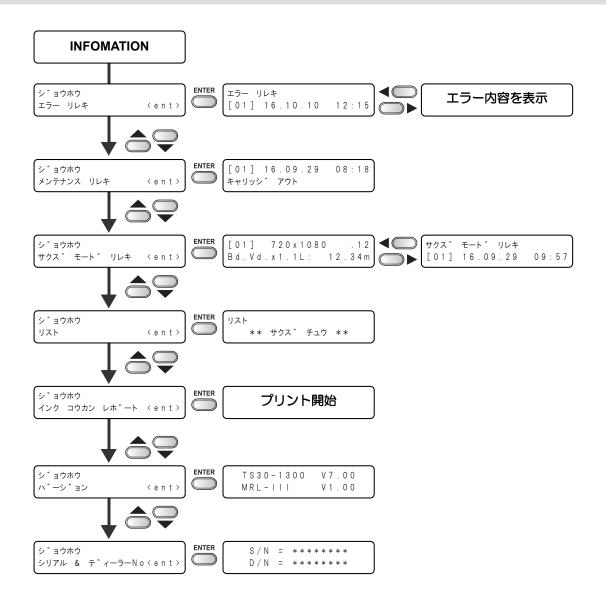












索引

| | カクニンフィード | |
|-------------------------|-------------------|------------|
| | 各部の名称とはたらきについて | |
| LED ポインタ2-15 | キャリッジ | |
| 223 // / 7 / 7 | ジョグキーのはたらき | |
| | 操作パネル | |
| | 装置前面 | |
| 141 | 装置背面 / 側面 | |
| MAPS3-22 | メディアセンサー | |
| | 画質不良が発生したときは | |
| | カッター刃とカットライン | |
| P | カッター刃の交換 | |
| <u> </u> | 乾燥時間の設定をする | |
| PUMP チューブ洗浄4-12 | カンソウフィード | 3-29 |
| U | <u></u> き | |
| | | |
| USB2.0 インターフェイスケーブル1-10 | キーブザー | |
| | 機能フローチャート | |
| | キャッピングステーション | |
| あ | キャッピングステーションのメンテナ | |
| | インク排出路の洗浄 | |
| 安全にお使いいただくためにvii | 長期間使用しない場合 | |
| ご注意とお願いix | ヘッドノズルの洗浄 | |
| 使用上の警告と注意viii | ワイパーとキャップの清掃 | |
| 使用上のご注意viii | ワイパーを交換する | 4-8 |
| 設置上のご注意x | | |
| | < | |
| () | | |
| | クリーニング間隔 | 3-17, 3-18 |
| インクカートリッジ1-12 | クリーニングタイプ | 3-17, 3-18 |
| インクカートリッジ取り扱い上のご注意1-13 | | |
| インク供給経路の切替設定3-43 | (_ \ | |
| インクコウカンレポート3-45 | | |
| インクの初期充填を行う4-21 | | 4.40 |
| インクの有効期限を延長する3-41 | ケーブルを接続する | |
| インクを充填する4-18 | 警告ラベル | |
| インクを変更したいとき4-43 | 原点設定位置の目安 | |
| | 原点を変更する | 2-15 |
| え | | |
| エラーメッセージ5-8 | | |
| | 故障?と思う前に | |
| | カートリッジ異常が発生したら . | 5-5 |
| お | 画質不良が発生したときは | 5-4 |
| | 作図できない | 5-2 |
| オートカット2-20 | 電源が入らない | |
| オートクリーニングの設定をする3-16 | ノズル詰まりを解消したいとき . | 5-4 |
| お問い合わせシート6-5 | メディアが汚れる | |
| | メディア詰まり | |
| | で注意 | |
| | し 注 忌 | |
| IJ· | C/土忌 | |
| グ 外装のお手入れ4-3 | C 注忌 | |

| | τ | |
|---|--|--------------------------------------|
| 作業の流れ | データクリア データを作図する 定期設定 クリーニング間隔 定期ワイピング リフレッシュ間隔 | 2-18 4-27 4-30 4-27 4-29 |
| ロジカルシークの設定 3-11 作図方式の設定をする 3-8 作図を開始する 2-18 作図を中止する 2-19 | テストサクズハイチ | 3-32 4-25 1-11 2-4 2-5 |
| ジコク | 电水焊合日土水侧 | v |
| ショクv 受信障害v 仕様 | ک | |
| インク仕様6-4 本体仕様6-2 使用可能メディアサイズ1-14 使用環境温度1-2 | ドットの位置がずれたら 取扱説明書について | |
| 情報を表示させる3-45 | E | |
| 初期状態3-26 す | ニアフル 日常のお手入れ お手入れ上のご注意 | 4-2 |
| スタンプ3-30 スリープ設定4-25 | <u></u> | |
| クリーニング間隔4-26 リフレッシュ間隔4-25 | | 4-18 |
| <u></u> | は | |
| 設置場所について | 廃インクタンク確認メッセージ 廃インクタンクを交換する ハイキファン キリカエ テイシタイマー ハイシュツ&センジョウ | 4-41 3-28 3-28 3-28 |
| 装置情報を確認する3-45 | パス間のシマを軽減するパターン作図パターン作図 パネル | 4-23 |
| た | | |
| 高さ調整レバー2-6 タンイ3-38 | | |

| 151 |
|--|
| ファンクションモード |
| ^ |
| ヘッドクリーニング2-17 ヘッド周辺の清掃4-16 ヘッド高さを調整する2-6 |
| ほ |
| ホカンセンジョウ |
| |
| マーク表示 |
| <u> </u> |
| メディア メディアをカットする 2-20 メディアをセットする 2-6 メディア押えの清掃 4-4 メディア検出の設定をする 3-20 メディア残量入力 2-12 メディア残量表示 4-33 メディアセンサーの清掃 4-4 メディア取り扱い上の注意 1-14 メディアについて 1-14 メディア補正の設定 3-5 メニューモード 1-15 メンテナンス洗浄液 4-2 |

| <i>(</i> A) |
|---|
| Ф |
| ユーザータイプ 設定機能一覧 3-3 タイブ登録 3-2 タイブ登録の例 3-2 登録できる設定内容 2-2 ユーザータイプを使用する 2-2 優先順位の設定をする 3-14 |
| b |
| リーフメディアをセットする |
| ろ |
| ローカルモード1-15 ロールメディアをセットする2-8 |
| わ |
| ワーニングメッセージ5-6 ワイパー交換の警告時期4-32 ワイパーレベル4-32 |

TS30-1300 取扱説明書

2016年1月

発行者 発行所 株式会社ミマキエンジニアリング 株式会社ミマキエンジニアリング

〒 389-0512

長野県東御市滋野乙 2182-3

